

ドウモソレデハ面白クナイ、又事實サ
ウ感ズル、是ハ次官ガ御子様ヲ御連レ
ニナラレテ其前ニ御立チニナッテモ、サ
ウ云フ感ジヲ御持チニナル、サウシタ
ナラバ是モ理窟ヲ附ケレバナンデモナ
イト斯ウナリマスケレドモ是迄既ニ一
回ハ此競馬法ノ制定前ニ此競馬法ニ付
テハ相當非難モ起ツテ人心ニ惡イ影響
ヲ及ボシ、社會ノ風教ヲ素スト云フヤ
ウナ意味カラ一時馬券ヲ禁止サレタコ
トモアツタヤウデアリマス、ヤハリ社
會風教ニ惡イ影響ヲ及ボスマラウト云
フコトハ、今日デモ私ハ否認出來マイ
ト思フノデアリマス、所ガ農林大臣閣
下ハ佛蘭西其他歐洲諸國ニ於キマシテ
ハ、競馬カラ得タ所ノ財源ニ依ツテ、大
ニ社會事業ヲヤツテ居ルト云フテ本案
提出ノ理由トセラレ私共ハ其統計表マ
デモ頂戴シテ居ル、隨テ將來ハ寧ロ金
持ノ人達ガ社會奉仕ト云フヤウナ觀念
デ大ニヤツテ吳レルヤウニナルノガ宣
イ、サウ寧ロ希望シテ居ル、是ガ理想
ダト云フコトヲ農相閣下モ仰シヤッテ
居ルノデアリマスガ、又陸相閣下モ此
間藤井サンニ反問爲サツテ居リマシタ
ガ、今度此財源ノ一部ガ救護法ニ使ハ
レテ窮民ガ救ハレル、一般人心ニ好イ
影響ヲ與ヘル、其事ガ偶々ハリ國防
上ニ瓦ルト云フヤウナコトヲ間接ニ好
イ影響ヲ與ヘテ行クカラ、吾々ハ宜イ

コト、認メルト、斯ウ仰シヤツテ居リ
マスガ、ドウモ是ハ本當ノ思召デハナ
カラウト思フ、ソレデ恰度是ハ今私ガ
ニ感ズル吾々ガソレヲ異様ニ感ジナイ
ア云フ塑像ヲ見タ時ニハ、ヤハリ異様
申上ゲタ子供ノヤウナ純真ノ者カラア
ア云フ塑像ヲ見タ時ニハ、ヤハリ異様
ノハ、頭ガ既ニ癱瘓シテ居ルカラ、實
ヲ申上ゲルトア、云フ御答辯ヲ遊バシ
テ居ルト云フコトハ、農相閣下モ陸相
閣下モ、或ハ失禮ダケレドモ競馬ニデ
モチツトオ儲ケニナッタコトガアリハセ
スカト、マア斯ウ考ヘテ差支ナイト私
ハ思フノデアリマス、ソレデ私ノ伺フ
所ハ救護法ノ如キ完全卽行ヲ要スル財
源ヲ斯ウ云フモノカラ捻出スルト云フ
コトハ全然ナイナラバ已ムヲ得ナイノ
デアルガ、之ニ付テ昨日高橋サンハ御
質問ニナリマシタ所ガ、農林省ニ於テ
既ニ此本豫算ノ御作成當時ニハマダ此
競馬法ノ改正ト云フコトニ付テハ御考
ガナカツタ、所ガ段々救護法ノ問題ガヤ
カマシクナツテ來テ、ドウシテモ此處力
ラ財源ヲ生ム外ナカラウト云フ御考ニ
ナツタヤウナ御説明ヲ承ッタノデアリマ
ス、ソレカラ又世間ニ漏レテ居ル所カ
ラ見マシテモ、井上閣下ハ大分素直ニ
頭ヲオ振リニナラヌ、自然内務省ニ於
テモ農林省ニ於テモ御異議ガ隨分アツ
タ、ケレドモ已ムナク御迷惑ナガラ遂
ニ御承諾ニナツタヤウニモ私ハ漏レ聞

イテ居ル、ソレデ財源トシテ私ハ餘リ結構ナモノデハナイト斯ウ感ジテ居ッタ、所ガ政府ノ方デハイツデモ今日財源ガ全ク涸渉シテ居ルノデアルカラ、無イ袖ハ振レナイデヤナイカトスウ仰シャル、私共考ヘル所デハ無イ袖ガ振レナイノハ事實ダガ政府ガ袖ノ付イタ著物ヲ持タナイノデ外ニハ袖ノ付イタ著物ガ澤山アル其レヲ求メナイカライケナイノデアル、ソコデ私ハ先般本會議ノ際ニ外ニ財源ノ得ヤウガアルデハナイカ、斯ウ云フ財源ヲ用イタラ宜カラウ、將來農相閣下ノ御理想ガ實現スルヤウナ時代ガ來レバ格別デアリマスケレドモ、今日ハマダ一般ニ其處マデ馴ラサレテ居ラヌノデアルカラ、ヤハリ社會全般ガ首肯スルヤウナ財源ノ方ガ宜カラウ、ソレニハ斯ウ云フ風ナ財源ハ如何カ、デハアリマセヌガ、若シ眞實政府ガ恬淡ニサウ云フ方ガ宜イト思召スナラバ、而シテ會期ガ盡キル怖レガアルナラ或ハ會期ヲ延長ニナルナリ又其中ノ一ツモ、又此ノ問題ハ既ニ政府成案ガアルノデアリマス、アルノミナラズ、是ハノ問題ト致シマシテハ私ガ當時申述べタ財源ノ一ツデ既ニ政府ガ組閣當時ニ於テ御計畫ニナツタ所ノ官吏ノ減俸デモ、又此ノ問題ハ既ニ政府成案ガアルノデアリマス、アルノミナラズ、是ハ

要モナイ、尤モ本會議デ内相閣下ハ其レハ恆久的ノ財源デナイカライカヌト云フ御答ヲ得テ居リマスガ、併シ私ガ伺タ所ノ財源ト云フモノハ不適當デアル、恆久的財源デナイカライケナイト云フ御答辯ヲ承フタノデアリマス、若シ減俸ニ手心ガ要ルナラ私ハコンナ考案ヲ別ニ名案トハ思ヒマセンガ會期ヲ延シテ斷行シタラドウカト思フ誰デモ案付クノデアリマスガ、減俸ト云フヤウナコトハ、一時反對ガ起ツテ御上デモ御困ニナリマシタ、是ハ私ノ意見デスカラ、問題ニシテ戴カヌデモ宜イノデアリマスガ、是位ノ財源ヲ得ルコトハ私ハ問題デナイト思フ、御上デハ實行ト云フモノハ困難デアル、ソンナ手輕ニ行クモノデハナイト仰セニナルニ相違ナイノデアリマスガ、併シソレハ要スルニ局ニ當ル方ノ斷行ト云フコトガ必要デ、此腹ヲキメテカ、レバ何ンデモ出來ナイコトハナイト私ハ確信スルノデアリマス、私ハ此間申上ゲナカッタノデアリマスガ、斯ウ云フコトモ出来ルト思フ、官吏ノ減俸等ト言ツテ官吏ダケカラ減俸スルト云フコトハ不合理ダト思フ、寧ロ吾々ノ頂戴シテ居ル歲費カラモ、又恩給カラモ徵收スル方ガ宜イ、ソレガ合理的デアル、ソレデ一寸計算致シマスルノニ、恩給ト官吏ヤ公吏ノ受ケル月俸ヤ年俸、國及市町村

デ 支給スル其他ノ前記俸給及國ノ歲費
恩給ニ對シテ臨時ニ特別所得稅ヲ賦課
スル、サウシテ之ヲ支給スル際ニ是ハ
稅金ヲ課スルト云フコトニナルト、ヤ
ハリ政府ト同ジヤウニ千二百圓以上
トシナケレバナリマセヌカラ、サウス
ルト又所得稅ガ殖エルヤウナコトニ
ナツテ非常ニツライカラ、月給百圓ナラ
百圓ヲ渡ス時ニ、百圓ノ中ノ二圓カ三
圓ヲ削ヅテ置ク、又吾々ガ歲費ヲ二度
ニ頂戴シテ居ル其中カラ渡サレル時ニ
差引イテシマフ、斯ウヤレバ稅金デハ
アルガ、負擔スル方ノ者ハ非常ニ手輕
デ前ニ申ス通リ大シテ苦痛ヲ感ジナイ、
例へバ此財源ヲ出ス爲ニ私共ハ百分ノ
五ノ稅金ヲ課スルト吾々ハ百五十圓
出ス、サウスルト千五百圓戴ク中デ一
度ニ七十五圓デ、議員方ナラ一晩遊ン
ダト思ヘバ歸メガ著ク、ソレカラ差引
イテ渡シテ貰ヘバ取ラレタヤウナ氣ハ
シナイ、尙ホ收入印紙デモ貼レバ宜イ
ノデアリマスケレドモ、印紙法ノ改正
ガ要ルカラ、ソンナ面倒ナコトハシナク
テモ宜イダラウト思フ、所ガ是ニハ附
加稅等ヲ課スルコトハ慘酷デアルカラ
スウ云フモノニ附加稅ヲ課シテハナラ
ヌト思フ、コノ方法ニ依リマスト、課
稅ハ御上デ御考案ニナツタト同ジコト
デ、ヤハリ最低年額千二百圓以上ノ收
得者ニ課スル、月給ナラバ百圓以上、貰

テ居ル人ニ課スル、サウシテ千二圓ヅ
ソ殖ヘテ行ツテ、一番最低ガ百分ノ三、
即チ百圓ノ月給ヲ貰フ人ハ月ニ三圓ヲ
税金トシテ納メル、サウシテ是モ渡ス
時ニ其税額ヲ差引ク、斯ウヤツテ百分ノ
三ヲ一番下ニシテ率ヲ一分ヅ、上ゲテ
行クトドレ程取レルカト云フト、恩給
ノ中カラハ八十六萬圓ヲ下ラズ一般會
計ニ於キマシテ二百八十萬圓ハ確ニ出
ル、特別會計ノ中デ鐵道會計カラ八
六萬圓ガ偶然恩給ト略、一致シテ出テ
來ル、公吏ニ對スル同率ノ課稅總額ヲ
除イテ是ダケデモ四百五十萬カラ五
百萬ノ財源ガ涌イテ樂ニ救護法ガ實施
ナ減稅ニ充當スルガ宜イ、斯ウ私ハ信
ジテ居ルノデアリマス、コンナコトハ
御上デ御ヤリニナロウト云フ決心ガ付
クカドウカハ判ラヌガ、兎ニ角御ヤリ
ニナル積リナラ財源ハナイコトハナイ
ト私ハ固ク信ジテ居ルノデアリマス、
ソレデ私ハ目下此外ニモ澤山重要ナル
政府御提出ノ法律案ガ停滞シテ居ルノ
デアリマスカラ、此際政府ニ於テ會期
ヲ御延長ニナツテ、此問題ニ付テ財源
ヲ改メテ再提出下サル御意志ハナイカ
ドウカ、之ヲ念ノ爲ニ伺ツテ置キタイ、ソ
レカラ會期ガ此ヤウニ切迫シタモノデ
アリ、又救護法ガクッ付イテ居ルカラ
吾々ガ文句ヲ付ケテモ痛シ痒シデ、通

サヌ譯ニモ行カヌトセラレヤウシ又貴族院ニ對シテモ同様ノ御確信ガアラレルニ相違ナイト思ヒマスガ、兎角當テ事ト輝ハ向フカラ外レ勝チデ、必ズ通ルト云フコトハ私ハ確信出來ナイト思フ、ソコデ私ハ斯ウ云フコトヲ御伺ヒ申上ゲタイ、此大事ナ法案ガ不幸ニシテ審議未了ニ終ルカ或ハ貴族院ニ於テ否決ヲサレマシタ場合ニハ政府ハ此救護法ノ實現ニ付テ如何ナル御決心ヲ御持チニナツテ居ルカ、又第一ニ今日窮民ガ段々殖エ政府デハ九萬餘ト計算サレテ居ルヤウデアリマスガ全國方面委員ナドノ言フ所デハ二十萬ニモ近イ、救助シナケレバナラヌ人間ガ居ルサウデアリマス、若シ本法ガ實現セヌ場合ニ政府ニ於テハ是等ノ憐レナル人々ヲ打ヤツテ置イテ、或ハ餓死スル者ハ殺セト放任シテ居フテモ宜イト思ハレテ居ルカドウカ、第三ニ會期モモウ數日デ終ルノデアルカラ已ムナク——最初組閣當時ニ御立案ニナツタ官吏ノ減俸ト云フコトデモ御斷行ニナリ、サウシテ本案ヲ完全卽行ヲオヤリニナルカドウカ、之レダケノコトヲ伺ッテ置キタイト思フノデアリマス

トデゴザイマスガ、併シ後ノ方ノ御質問ノ趣旨ハ極メテ簡單デアリマス、其點ノミニ付テ御答致シマス、救護法ノ財源ヲ何ニ取ルカト云フコトニ付キマシテハ、是マデ本會ニ於テモ委員會ニ於テモ當局大臣其他政府委員カラシテ種々御答ガアツタコト、デアラウト思ヒマス、此事ニ付キマシテハ政府ニ於キマシテモ現下ノ財政狀態ニ照シマシテモ色々各方面ノ財源ヲバ研究ニ研究ヲ重ネマシタ結果、其一部ヲ競馬法ノ改正ニ依ツテ得ル利益ニ取ルト云フコトニ結論シタノデアリマス、一般ノ社會政策ノ財源ヲ何ニ取ルカト云フコトハ、是ハ國家トシテ將來考フベキ極メテ重大ナル問題デアルト私ハ常ニ考ヘテ居リマス、租稅カラ取ルノモーツノ方法デゴザイマセウガ、社會政策ノ要旨ハ多數ノ貧民階級ニ向ッテ——貧民階級ト云フコトハ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、兎ニ角生活ニ困難ヲスル所ノ多數ノ國民ニ對シテ救助ニ手ヲ伸バスト云フノデゴザイマスカラシテ、租稅ニ取ルコトモ一ツノ方法デゴザイマセウガ、出來ルナラバ富豪階級カラシテ、而モ富豪階級ニ餘リ苦痛ヲ感ゼズシテ喜ンデ出スヤウナ財源ガアレバソニ財源ヲ求メテ社會政策ヲ講ズルト云フコトハ、オ互ニ政治家トシテ將來考ヘナケレバナラヌコトデアルト思ヒ

マス、堀部君カラモ御話ガアリマシタ
ガ、歐羅巴諸國ニ於キマシテハ競馬ヲ
ヤツテ居リマスルノミナラズ、富籤ヲ
ヤツテ居リマス、何レノ國ニ於キマシテ
モ、大分富籤ヲヤリマシテ、ソレニ依フ
テ得タル所ノ財源ヲ、社會事業其他慈
善事業ニ用ユルト云フ方法ハ少ナクナ
イノデアリマス、併シ我國ニ於キマシ
テハソコマデヤラウト云フヤウナ、政
治上ノ實際問題ハ起ツテ居リマセヌ、要
スルニ繰返シテ申シマスルガ、政府ハ
現下ノ財政狀態ニ照シテ、色々研究致
シマシタ結果、競馬法ニ財源ノ一部ヲ
求メルト云フコトニ相成ツタノデアリ
マス、ソレカラシテ官吏ノ減俸トカ、
或ハ恩給法ノ改正其他御意見ガゴザイ
マシタガ、是モ色々將來問題ニナルダ
ラウト思ヒマス、議會ガ濟ミマシタナ
ラバ、行政整理モヤリマスルカラシテ、
行政整理ヲヤル其時ニ於テ、減俸問題
モ現レテ參リマセウ、又恩給法ノ改正
モ現レテ來ルダラウト思ヒマス、併シ
現下ニ於キマシテハ救護法ノ財源ノ一
部ヲ作ル爲ニ、競馬法ノ改正ヲスルト
云フ、此方針ヲ以テ進ンデ居ルノデア
リマス、ソレカラシテ議會ヲ延長スル
意思ハナイカト云フコトデゴザイマシ
タガ、今日ニ於キマシテハ、私ハ渺々
ル政府委員デゴザイマスケレドモ、政
府トシテハ別ニ會期ヲ延長スルト云フ

○堀部委員 只今ノ御答辯デ私十分デアリマス、萬一ノ場合ニドウナサルカト云フヤウナコトヲ今伺ツテモ、或ハ又審議未了ニ終ルト云フコトヲ御想像ニナルコトハ政府當局トシテハ出來ヌコトデアリマス、此機會ニドウカ萬一ノ場合ニハ當局ノ御努力ニ依ツテ、救護法ヲ成ベク完全ニ近クシテ御實施下サラシコトヲ御願ヒ致シマシテ私ノ質問ハ打切リマス

○齋藤政府委員 救護法ノ實施ハ、今和五年、昭和四年カラデモ実施シタイト云フコトハ、是ハ官民一同ノ希望デアリマス、政府ニ於キマシテモ、無論其考ヲ持ツテ居リマスガ、モウ此議會ニ於テ初メカラ終リマデ問題ニナッテ居リマスルヤウニ、財政上ノ都合ニ依リマシテ、已ムナク今日マデ延期シテ居ルノデアリマス、今回モ救護法實施ヲ提案致シマシタケレドモ、ソレモ昭和六年度初メカラシテ、實施スルノデアナクシテ、昭和六年度ヲ大分過ぎ去ツタ後ニ於テ、實施セネバナラスト云フ程、ソレダケ財政ハ窮乏シテ居ルノデアリマス、是マデ實施スルコトガ出來ナカッタノハ、甚ダ遺憾千萬デアリマスケレドモ、何分ニモ財政上ノ状態已ムナクスノ如キ事態ニ迫ツタノデアリマスカラ、此點モ惡シカラズ御了承ヲ願ヒマス

ノハ、政府ガ今日ノ窮民ノ實狀ヲ御存知ナイカ、或ハ餘リ冷淡ナ結果デハナカツタカト考ヘルノデアリマス、而モ愈々救護法ヲ御實施ニナルト云フ決心ノ付キマシタノハ、極ク最近ノヤウニ考ヘルノデアリマスガ、何時カラ此御計畫ガ決定ニナッタノデアリマスカ、其時期ニ付テ御伺申上ゲマス

○齊藤政府委員 十三億ノ厖大ナル豫算ノ中ニ於テ、七十萬ヤ百萬ノ金ヲ捻出スルコトハ、左程困難デハアルマイト云フ御説デアリマスガ、吾々モ豫メサウ云フコトハ考ヘテ居ルノデアリマス、大藏省ガ遺緑算段ヲスレバ、大キナ國家ノ財政ヲ預ッテ居ツテ、五十萬ヤ百萬ノ金ハ何處カラデモ出ルト云フヤウナ考ヲ持ツテ居リマスガ、財政當局者ニナリマスト、中々金ガ出ナイラシイノデアリマス、而モ救護法ノ實施ハ、愈々財源ガ定マリマシテ議會ニ提案致シマシタノハ最近デゴザイマスケレドモ、是ハモウ現内閣成立當時カラ十分考ヘテ居ツタノデアリマス、而シテ色々財政當局者ト折衝ニ折衝ヲ重ネテ、中中財源ヲ捻出スルコトガ出來ナイト云フヤウナ有様ニナリマシテ、結局研究ニ研究ヲ重ネタ結果、斯ウ云フ財源ヲ見付ケ出シテ、是ヨリ外ニ現下ノ有様ニ於テハ絶對ニ途ハナイ、其處マデ漕付ケマスル間ニ於テ、長イ月日ヲ過シ

タノデアリマス、是モドウモ仕方ガナ
イノデアリマス、モット早ク財源ガ見
付カレバ宜カツタノデアリマスケレド
モ、競馬法ノ改正トカ、或ハ關稅定率
法ノ改正ヲヤルマデモナク、他ノ恆久
的財源ヲ發見シヤウト思ツテ、大藏省ノ
當局モ、内務省ノ當局モ骨ヲ折ッタノ
デアリマスガ、ドウモ出來ズシテ、最
後ノドタン場ニナツテ、斯ウ云フコトニ
ナツタノデアリマシテ、何時カラ救護
法ヲ作ル考ヲ起シタカト御尋ニナリマ
スナラバ、現内閣成立當時カラ、堅ク
其考ハ持ツテ居ツタノデアリマス

實ガアルノデアリマス、私ハ斯ウシタ
時勢ニ於キマシテ、上御一人ノ聖慮ヲ
煩シ奉ルト云フコトハ、洵ニ現内閣ト
シテモ重大ナル責任ヲ御感ジニナル必
要ハナイカト考ヘルノデアリマス、隨ツ
テ二月ノ十四日マデハ救護法實施ト云
フコトガ決定サレテ居ナカッタ、御努
力ハ御遣リニナツテ居ツタデアリマセウ
ガ、決定的ニハ二月ノ十四日以後ニ救
護法實施ノ財源ヲ得ラレタコトハ、私
ハ考ヘルノデアリマス、ソコデ御伺致
シタインデアリマスガ、競馬法改正案
ガ、私一昨日藤井君ノ質問ニ對スル農
林大臣ノ御答辯ヲ拜聽致シマシテ、非
常ニ疑惑ヲ持テ居ルノデアリマス、救
護法實施ノ爲ニ競馬法ノ改正案ガ議會
ニ提案サレタノデアルカ、或ハ競馬法
改正ニ重キヲ置イテ、競馬法改正ニ依ツ
テ得タル金ヲ救護法ノ方面ニ御用キニ
ナルノカ、是ハ本案ノ審議上最モ重大
ナル問題デハナイカト考ヘルノデアリ
マス、此點ニ對シマシテ、内務當局ノ
御意見ヲ御伺致シタインデアリマス
○齊藤政府委員 競馬法ヲ改正致シマ
スル目的ハ、改正ニ依ツテ競馬法ヨリ生
ズル所ノ馬匹改良ト云フヤウナ目的ヲ
達スル上ニ於テ、利益モゴザイマセウ
シ、又一面ニ於キマシテハ、之ニ依ツテ
財源ヲ得テ、問題ニナツテ居リマスル所
ノ救護法ヲ實施スル助ケニモナルト云

リ點カラ、競馬法ノ改正ガ起ツタノデア
リマス、之ニ依ツテ競馬法ガ改惡セラレ
テ、所謂馬事改良ノ目的ニ齟齬スルヤ
ウナコトガアリマシタナラバ、縱令救
護法ノ金ヲ造ルコトガ出來マシテモ競
馬法ノ改正ハ行ハレナカツタデアラウ
ト思ヒマス、競馬法ノ改正ハ競馬法本
來ノ目的ヲ達スルト同時ニ、又一面ニ
於キマシテハ、此重大ナル社會政策等
ヲ實行スルニ付テモ、大ナル便宜トナ
リマスカラ、是等ノコトヲ綜合致シマ
シテ、今回ノ改正案ガ現レルニ至ツタ次
第デアリマス

併シ意見ヲ申述べルコトモ如何カト考
ヘマスルガ、唯簡單ニ申上ゲマスルト、
救護ヲヤルト云フコトハ、是ハ人類ノ
道徳上カラ申シマスルト、最高道徳ノ
發露デハナイカト思フ、成程便宜上、
外國ノ例ニ倣ヒマシテ、或ハ競馬或ハ
富籤ト云フヤウナ一部僥倖ラ期スルト
云フヤウナ方面カラ、財源ヲ得ルト云
フコトモ、方法トシテハ私決シテ之ヲ
否認スル者デハナイ、ケレドモ外國ト
日本ノ習慣、或ハ人情等ハ御承知ノ通
リ非常ニ懸隔ガアルノデアリマス、外
國人程賭博ニ類似シタ行爲ヲ好ム國民
ハ、私ハ恐ラクアルマイト思ヒマス、
日本人ニ比較致シマシテ、彼等ノ方ガ
ヨリ以上射倖心ガ旺盛デアルト云フコ
トハ、是ハ明瞭ナ事實デハナイカト思
フ、私共汽車ノ中、或ハ汽船ノ船室或
ハ「サルン」等ニ於キマシテ、彼等ガ骨
牌ヲ利用シ、或ハ其他ノ方法ニ依ツテ、
色々勝負ヲ争ツテ居ル状態ヲ見マシテ
モ、私ハ確ニ日本人トハサウ云フ方面
ニ對シテ異ッタ性格ヲ持ツテ居ルコトヲ
確信致シテ居ルノデアリマス、殊ニ近
來日本ノ内地ニモ段々斯ウシタ勝負事
ガ流行ツテ參リマシテ、彼ノ麻雀ト云フ
ガ如キ新シイ競技方法ガ、段々全國各
地方ニ瀰漫致シテ居ルノデアリマス、
内務省デハ之ヲ如何ニ御考ニナツテ居
ルカハ存ジマセヌガ、麻雀ガ非常ニ人

ハ、是ハ誰ガ見テモ間違ノナイ事實デ
アリマスルガ、サウ云フ風ニ段々外國方
面ノ、斯ウシタ思想ガ日本ニ入ッテ來ル
コトハ、私共決シテ國家將來ノ爲ニ歡
迎スベキ事柄デハナイト考ヘテ居ルノ
デアリマス、而モ今回ノ救護法ノ實施
ニ當リマシテ、成程財源ニ御困リニナ
リマシタ結果、心ナラズモ斯ウ云フ方
面ノオ金ヲ御使ヒニナルト云フコト
ハ、私モ能ク了解ヲ致シテ居リマスル
ガ、併シ同ジ金デモ吾々ガ淺草ノ觀音
様ニ參ッテ御賽錢ヲ五十錢授ゲル時ノ
氣持ト、「カフエー」ニ參リマシテ女給
ニ與ヘル五十錢ノ「チップ」ヲ出ス其時
ノ氣持ニ、非常ナ隔リガアルコトヲ、
先以テ私ハ御了解ヲ願ヒタイノデアリ
マス、隨テ同ジ金デアルカラ之ヲ競馬
ノ——平タク申シマスルト、賭博ノテ
ラ錢ノ上前ヲハネテ、救護法ヲ實施ス
ルト云フ非難モ一斑ニ行ハレテ居ルヤ
ウデアリマス、同ジ金デアルカラソレ
ハ何等差支ヘナイ、國民ノ道德上何等
影響スル所ハナイト云フ思召デアリマ
スルカドウカ、此點ノ御見解ヲ承ッテ見
タイト思フノデアリマス

ニ佳ヒヲシテ榮耀榮華贊澤極マル所
生活ヲシテ居ル人ガアル、他ノ一方ニ
於キマシテハ、朝カラ晩マデ働イテモ、
汗ヤ脂ヲ流シテ働イテモ、食フニ困ル
者ガアル、又朝カラ晩マデ走リ廻ツテモ
食ヲ得ルコトノ出來ナイ者モアル、是
レ洵ニ社會狀態トシテ困ツタ事デアリ
マス、是ハ併シ日本バカリデナク、今
日世界各國比々トシテ然ラザルハナイ
ノデアリマス、併シ是ハ社會ハ非常ニ
複雜シテ居リマシテ、ソレナラバ是ヲ
バドウシテ矯正スル事ガ出來ルカト云
フコトニナリマスト、中々重大ナ問題
デアリマス、是ガ爲ニ色々ノ學者政治
家ハ研究ヲ致シマシテ、其研究ノ結果
ヲバ各所ニ公表シテ居リマスケレド
モ、掲テ結果ヲバ、ドレヲ實施スルコ
トガ出來ルカト云フ點ニナリマスト、
是亦中々ムヅカシイ事ガ起ルノデアリ
マシテ、現在ノ社會ハ斯ノ如キ有様デ
アリマスカラ、出來得ルナラバ金ノ有
ル者ハ、所謂人間最高ノ道徳、人類愛
ニ即シテ自分ノ餘裕有ルモノヲ以テ、
生活ニ困ツテ居ル者ヲ救ウヤウニサシ
タイ、是ガ出來マスナラバ、救護法ナ
ドト云フヤウナ法律ノ制定ガ、既ニ無
益デアルノミナラズ、救護法ノ財源ヲ
バ競馬法ニ求ヌルト云フヤウナコト
ハ、全ク不必要ニナッテ來ルノデアリマ
ス、併ナガラ人間ハヤハリ神様、佛様

ト達ヒマシテ、自分ニ有リ餘ル物ガア
リマシテモ、自分ノ物ヲバ人ニヤルコ
トヲ吝ム、是ガ人間通有ノ特性即チ惡
性トナツテ居リマスカラシテ、ドウモ斯
ウ云フ社會政策ヲバ國民ノ道徳心ノミ
ニ信賴シテ、國家ガ放任シテ置クト云
フコトガ出來ナイ爲ニ、何レノ國ニ於
キマシテモ國家ノ權力ノ發動、即チ法
律ノ力ヲ以テ是等ノモノヲバ救助シナ
クテハナラヌト云フコトニ相成ッテ來
ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ
シテ、總テノ法律、救護法ノミニハ限
リマセヌ、人間ガ正義ヲ重ンジ道徳ヲ
重ンジテ互ニ同胞相犯サズ、自分ノ權
利ヲ侵害セラレザルト同時ニ他ノ人ノ
權利モ侵害シナイ、自分ノ自由ヲ主張
スルト同時ニ、他人ノ自由ヲ尊重スル
ト云フコトニナリマシタナラバ、國家
ノ權力ノ必要モナケレバ、多數ノ法律
規則ト云フモノモ無益ニナルノデアリ
マス、茲ニ人類道徳ノ程度ニ於キマシ
テ、中々其處マデ達シテハ居ラヌノデ
アリマスカラ、止ムヲ得ズ斯ノ如キ手
段ニ憩ヘルト云フヤウナコトニ相成ル
ノデアリマス、此競馬法ハ賭博ヲ獎勵
スルモノデアルト云フ議論ハ、競馬法
制定ノ當初カラシテ一部ノ間ニ起ツテ
居リマス、或ル意味ニ於キマシテハ賭
博ノ性質ヲ持ツテ居ルトモ言ハレマス
ガ、是ハ競馬法ニ限ラズ、例ヘバ勸業

債券ヲ發行シテ籤引デカラニ當籤サセ
ルコトモアル、是モ或意味ニ於テ賭博
デアリマス、併ナガラ其賭博ノ性質ガ
非常ニ強クナリマシテ、一般ノ風俗ニ
大ナル害ガアルト云フヤウナ場合ニ
於キマシテハ、國家ハ之ヲバ制禦シナ
ケレバナラヌノデゴザイマスケレド
モ、今日ノ競馬法ノ程度、今日ノ勸業
債券ノ程度ニ於キマシテハ、之ニ依テ
社會ガ受クル所ノ損失ヨリカ、受クル
所ノ利益ノ方ガ多大デアル、斯ウ政府
ハ見マシタガ爲ニ、幾ラカソレハ缺點
ハゴザイマシテモ、之ニ依テ得ル所ノ
大ナル利益ヲバ、算盤ヲ彈キマシテ國
家ノ意思ヲ決定スルト云フコトニ相
成ツタノデアリマス、ドウモ風俗トカ或
ハ公安秩序トカ云フヤウナコトニ害ノ
有ルモノハ、法律ニ於テモ禁ジテ居リ
マスルシ、内務當局ニ於キマシテ十分
ニ取締ニ努メテ居ルノデゴザイマス
ガ、是モヤハリ時代ノ進ミニ依テ非常
ニ違ツテ來ルノデアリマス、卑近ナ例デ
ゴザイマスガ、例ヘバ芝居ヲ見ル、近
頃芝居ヲ觀ニ行キマスト云フト、女ガ
猿股一ツデ踊テ居ル、斯ウ云フコトヲ
十年モ二十年モ前ニ行ツタナラバ、是ハ
大變ナコトデアリマスケレドモ、今日
女ガ猿股一ツデ踊ルノハ何デモナイ、
先程堀部君カラシテ御話ガアリマシタ
ガ、展覽會ニ行ケバ男ト女ト口ヲ吸合フ

テ居ル、斯ウ云ウコトモ餘程前ノ展覽

マ
ス

會ニ於キマシテハ、警察ノ方デ禁止シタノデアリマスガ、今日ニ於テハ禁止モ、大キク言ヘバ世界ノ風潮ニ促サレ、又小ニシテハ國內ノ事情ニ變リガアリマスガ爲ニ、其時々ニ依フテ寛嚴其宜シキヲ得ナクテハナラヌノデアリマシテ、コ、ガ此取締ノ局ニ當ツテ居リマス、政府當局者ガ非常ニ苦シム所ナンデアリマス、餘リ酷イ取締ヲスルト云フト、總テノ自由ヲ剝奪スルト言ハレ、又放任シテ置キマスト、ソレデハイカヌデハナイカト云フ非難ヲ受ケマスノデ、其間ニ處スルコトガ中々ムヅカシイノデアリマス、競馬法ノ如キモ競馬法其モノニ付テノ反對論モゴザイマシシ、又是ヨリカ以上ニ擴張シテ宜シイト云フ議論モアリマシテ、現ニ委員會ニモ出タト云フコトヲ承フテ居リマスガ、政府ノ方デハ是ダケノ程度ノ改正タル影響ヲ及ボスマノデハナイ、之ニナラバ、別ニ賭博ヲ獎勵スルト云フコトニモナラヌシ、風俗ノ上ニ於テサシ出来ルノデアルカラシテ、國家社會ノ大局カラ觀察致シマシテ決行スペキモノデアル、斯ウ結論ヲ下シタノデアリ

マス

フ
吉

○久山委員 色々御話ヲ承リマシタ
ガ、ドウモ少シ腑ニ落チヌ所モアリマ
ス、其中一番私不思議ニ考ヘマスノハ、
是ハ本會議デモ質問ガアッタノデアリ
マスガ、失業者ニ對シテハ公債ヲ發行
シテ失業者ノ救濟ヲオヤリニナルノカ、
其質問ニ對スル御答辯ニ依リマスト、
失業公債ハ一年限リノモノデアルカ
ラ、財源ヲ公債ニ求メテ差支ナイト云
フ御話デアッタノデアリマス、吾々失業
者ハ一年切リデ絶エルトハ決シテ考ヘ
ナイノデアリマス、併シ失業者救濟ノ
爲ニハソレモ一方方法デアリマセウ、ソ
レト同様ニ何故此救護法實施ノ財源ヲ
公債ニ御求メニナラナカッタカト云フ
御喜ビニナラナイ、隨テ政府ノ體面ニ
ノミ重點ヲ置カレマスト、公債政策ハ
現政府トシテハ或ハ絶対ニ御嫌ヒニナ
ルカモ知レマセヌ、此失業者ト云ヒ、
救護法ノ救濟ヲ受ケル人ト云ヒ、其ニ
國民ノ申デハ實ニ氣ノ毒ナ人デアリマ
シテ、私共多少サウ云フ方面ノ仕事ニ
ルノデアリマス、寧ロ私自身ガ彼等ノ
モ關係ガアリマスノデ、彼等ノ今日ノ
本當ノ生活狀態ヲ能ク調査ヲ致シテ居
申間ニ這入ツテ、或程度マデ同様ノ生活
ヲ致シテ居ルト言フテモ差支ナイト云

フ立場ノ人間デアリマスガ、サウシタ

窮迫シタ人ノ一日ヲ争フ救濟ヲ、而モ
年度ノ初カラ救濟スルコトガ出來ナイ
ト云フヤウナ今日ノ方法ニ依リマシテ
債發行ヲ御嫌ヒニナルト云フコトハ、
民政黨内閣トシテハソレハ通用致シマ
セウ、ケレドモ一般ノ國民、殊ニ明日
ノ生活、寧ロ今日ノ生活ニ追ハレテ居
ル此多數ノ窮民ニ對シテハ、私ハサウ
云フ議論ハ決シテ成立タナイト考ヘル
ノデアリマス、既ニ競馬法ノ改正ニ依
テ得ル所ノ金ヲ此方ニ流用サレルコト
ニ對シテモ、政府ハ幾分ノ道徳的ノ責
任ヲ御感ジニナツテ居ル、併シ已ムヲ得
ナイトシテ之ヲ實施スルコトニ致サレ
タノデ、私ハ政府ノ面目ヲ御考ニナラ
ナイ以外ニ、尙ホ此公債政策ニ依ツテ救
護法ノ實施ノ財源ヲ得ラレル何カノ障
碍ガアルカドウカト云フコトヲ御伺シ
テ見タイノデアリマス

1

ナリマスカラ、五萬圓——半額ノ財源
デ大體ハ濟ム譯デアリマスガ、横濱市
ノ分ハ歲出ノ整理節約デアルトカ、高
利債ノ借替ト云フヤウナ方法ニ依ッテ
ヤリ繰ヲ付ケル積リデアリマス、昭和
七年以降ハ約十萬圓ノ缺損ガ横濱市ニ
残サレマスガ、其事ニ付テハ是ハ大臣
カラ御答辯ヲ申上ゲルコトガ適當デア
ラウト思ヒマスガ、他ノ機會ニ於テ内
務大臣ガ答辯セラレマシタ所ヲ私聽イ
テ居リマシタ、其通リヲ申上ゲレバ、
一體神奈川縣竝ニ横濱市ノ經濟ハ非常
ニ逼迫シテ居ルノデアルカラ、昭和六
年度ニ行フ財政稅制ノ整理等ニ依ッテ、
國庫ノ財政ニ餘裕ヲ生ジタナラバ、神
奈川縣竝ニ横濱市ノ財政ニ付テ相當考
慮スル考デアルト云フコトヲ他ノ機會
ニ於テ、ヤハリ同一ノ御質問ニ對シテ内
務大臣ガ答ヘテ居リマス、恐ラク此席
ニ出ラレマシテモ、同一ノ御答ヲセラ
レルデアラウト思ヒマス、ソレカラ其
外ニ稅デハゴザイマセヌガ、競馬俱樂
部カラ地方團體ニ向テ寄附金ヲ致シ
テ居ルモノガアリマス、千葉縣、京都
府、兵庫縣、新潟縣等ニ於キマシテハ、
競馬俱樂部カラ縣所在ノ町村ニ對シテ
——東京府モサウデアリマシテ、寄附
金ヲ致シテ居リマス、其寄附金ハ如何

法ノ改正トハ直接ノ關係ハナイノデア
リマス、一體是等ノ公共團體モ公認競
馬ノ馬券賣得行爲ニ對シテ、地方稅ヲ
課シタ云フコトヲ申出タノデアリ
マス、内務、大藏兩大臣ノ許可ヲ受ケ
トハ、一度之ヲ福岡縣ニ試ミテ見マシ
テ、非常ナ混雜ヲ生ジマシタ、馬券ヲ
馬券賣得行爲ニ對シテ稅ヲ掛ケマスコ
トハ、一度之ヲ福岡縣ニ試ミテ見マシ
ニ參ツタノデアリマスガ、併ナガラ此
ニ買ヒニ行キマス度毎ニ、一枚々々
レバナラナイト云フ手數ガアリマス、
一々買ヒニ行キマス度毎ニ、一枚々々
ニ付テ馬券賣得稅ヲ其團體ニ納メナケ
レバナラナイト云フ手數ガアリマス、
短イ時間ノ間ニ馬券ヲ買ヒマス上ニ、
更ニ稅金ヲ納メナケレバナラナイト云
フノデ、非常ナ混雜ヲ致シマシテ、競
馬ノ執行ニ害ガアルカラ、是ハ取止
メルコトニシテ貴ヒタイト云フ、農林省
省ノ方面カラ話ガアリマシテ、横濱
市ト福岡縣ノ既ニ許シマシタモノハ、
是ハ致方ガナカッタノデアリマスガ、其
後ノ新シイ馬券賣得稅ヲ起サウト云フ
モナク、所謂競馬法施行規則ノ十九條、
二十條ノ拂戻金ノ剩餘金額ト云フモノ
ニ上ルト云フ狀況デアリマスカラ、其
一部分ヲ割イテ世話ニナツテ居ル府縣
市町村ニ寄附シテ然ルベキデアラウト

云フコトデ、府縣市町村ト競馬俱樂部ト話合ヒガ出來マシテ、相當ノ金額ヲ今申上ゲマシタ俱樂部カラ、地元公共團體ニ向テ寄附ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、斯ノ如キ剩餘金額ハ俱樂部ノ收入ニナラナイ、一般馬券ヲ買ッタ者ニ拂戾スト云フコトニナリマシタノデ、結局競馬俱樂部ノ收入ハソレダケ減ズルコトニナルノデアリマス、サウ云フ關係カラ、府縣市町村ニ對シテ從來通諾致シマスカドウカト云フコトハ、甚ダ疑問デアラウト思ヒマス、少クモ地元ノ町村ニ對シテハ色々密接ナル關係ガアリマスカラ、引續キ寄附ヲスルノデハナイカト私共ハ考ヘテ居リマスルガ、其府縣ニ對スル多キハ十萬圓、少キモ數萬圓ノ寄附金ハ、是ハ競馬俱樂部ガ出セナイ、又出サナイト云フヤウニナルノデハナイカト考ヘテ居リマス、併シ是ハドウモ法律改正ノ結果、競馬俱樂部ニソレダケノ金ヲ出ス力ガ無クナツタノデアリマシテ、已ムヲ得ナイコトデアルト思フノデアリマス、是ハ私ノ一個ノ考ヲ申上ゲルノモ如何カト思ヒマスガ、アノ剩餘金額ガ俱樂部ノ收入ニナルト云フノハ隨分妙ナコトデアツタノデアルガ、今度馬券ヲ買ッタ者ニ戻サウト云フ、私共常識デ考ヘテ正

シイ道ニ戻ツテ來マシタ、其結果トシテ俱樂部ノ收入ガ減ジ、隨テ寄附金ガ出來ナクナルヤウニナツタト云フコトハ、例へバ今度小倉ノ競馬場ガ隣ノ村ニ移轉致シマシテ、小倉市ニ對スル寄附金ガ今後無クナルト同ジヤウナ關係デ、已ムヲ得ナイコトデハナイカト考ヘテ居ル次第アリマス、大體以上デ御諒承ヲ願ヒタウ存ジマス

○藤井委員 スルト從來地方稅トシテ取ツテ居リマシタモノガ、今後只今御話ニナリマシタヤウニ、神奈川縣ニ致シマシテモ、福岡縣ニ致シマシテモ、埋合セノ方法ガ立ツデアリマセウカ、他ノ方面ノ方ハ大體從來寄附ニナリマシタ金ヲ如何ナル事ニ使ヒ、サウシテ又ソレガ無クナッタナラバ各地方ハ如何ニシテソレヲ補填スルノデアリマスカ

○次田政府委員 從來這入ツテ居リマス金ハ一般ノ歳入ノ中ニ這入りマシタノデ、格別ニソレヲドノ費目ニ當テタト云フコトハナイノデアリマス、ソレカラ今後假ニ寄附金ガ這入ラナイト致シマシテ、其公共團體ハ其埋合セヲドウヌタルカト云フコトデアリマスガ、是ハドウモ法律改正ノ結果トシテ、俱樂部ニソレダケノ寄附ヲスル力ガ無クナツタノデアリマシテ、其府縣自身デ其補填ノ方法ヲ考ヘナケレバナラヌモノダト思フノデアリマス、其團體ニ今後

寄附スルコトガ無クナルデアラウト云
フコトヲ理由トシテ、拂戻金ヲ一般ノ
「ファン」ニ拂戻サナイト云フヤウニシ
テ吳レト云フコトモ、農林省ニ要求ス
ル譯ニモ行カナカッタノデアリマス

○藤井委員 サウシマスト神奈川縣ト
福岡縣ハ約十五萬圓程、他ノ地方ハ約
四十五萬圓程ノ寄附ヲ持ツテ居ルノデ
アリマス、農林大臣ノ御説明ヲ承ツテ
居リマスルト、約六十萬圓程ノ金ガ從
來府縣地方ニ寄附ニナッテ居ッタノデア
ル、ソレガ此度ノ改正案ニ依ツテ農林
省ニ參ルコトニナッタ、農林省ニ參ッタ
金ガ——參ツタト申スカ、一般會計ニ這
入ルノデアリマスガ、ソレハ救護法ノ
方ニ參ルノデアル、斯ウ云フ御説明デ
アリマシタガ、大體十五萬圓程ハ神奈
川縣ト福岡縣デ、四十五萬圓ハ他ノ地
方ノ競馬俱樂部ノ收入ニナッテ居ッタ
思フノデアリマスガ、サウシマスト神
奈川縣、福岡縣ノ地方稅トシテ取ツテ
居リマスモノハ、只今御説明ニ依ツテ
大體其財源ヲ補填スル方法ヲ内務省ガ
御考ニナッテ居ルヤウデアリマスケレ
ドモ、殘リノ四十五萬圓ト云フモノハ
今後各關係ノ地方廳ト云フモノガヤリ
緑リヲセネバナラヌト云フコトニナリ
マスナラバ、御承知ノ通リノ不況ノ際
デアリマスカラ、四十五萬ト申シマス
レバ相當ナ金額デアルト考ヘルノデア

リマス、サウシマスト此競馬法改正ノ
爲ニ少クモ地方民ト云フモノガ從來得
トニナリマスカラ、其負擔ヲ負ハナケ
レバナラヌト云フコトニナルト考ヘマ
スカ

○次田政府委員 私前ニ説明致シマス
ノニ少シ漏レタ所ガアリマスカラ、ソ
レヲ先づ補足シテカラ御質問ニ答ヘタ
イト思ヒマス、横濱及ビ福岡縣ハ地方
稅ヲ課スルコトノ許可ヲ得テ居リマス、
併ナガラ前申シマシタ通り競馬俱樂部
ノ方カラ其團體ニ願出マシテ、略、稅收
入ニ概當スル位ノ寄附金ヲ出シタラ、
其稅ヲ掛ケナイデ置クト云フコトヲ申
出マシテ、公共團體ノ方デモ收入ニ餘
裕ガアレバソレデ宜シイノデアル、殊
ニ徵稅費モ省キ、脫稅モナクナルカラ
ト云フ理由ヲ以テ、ソレヲ承諾致シテ
居ル次第デアリマス、寄附金ノ形式デ
現在ハ入ツテ居ルノデアリマス、併ナガ
ラ私共ノ方カラ申シマスレバ、俱樂部
ヲ見合セテ貰ヒタイト云フコトヲ、農林
省ニ向ツテ主張スルニハ、ドウモ少シ
ケノ剩餘金額ヲ返スト云フ今度ノ改正
案ニ贊成シタ次第ナノデアリマス、而
シテ假ニ寄附金ガナクナッタソマシ
云フノデ、農林省ノ「ファン」ニソレダ
ラウト思ツテモ取レナクナル、申サバ既
得權利ガナクナルト云フ譯ニアリマス
カラ、此農林省ノ競馬法改正案ニ贊成
スル際ニハ、ソレニ對スル補填財源ノ
謂其許シタ地方稅ヲ横濱市、福岡縣ガ取
得權利ガナクナルト云フ譯ニアリマス
カラ、此農林省ノ競馬法改正案ニ贊成
スル際ニハ、ソレニ對スル補填財源ノ

リマス、サウシマスト此競馬法改正ノ
コトハ考ヘテヤラナケレバナラヌ譯デ
アル、所ガ此俱樂部ノ方ニハ地方稅ノ
ス競馬場ガ隣リノ村ニ移リマシテ、小
倉市ニ從來ノ收入ガナクナッタ、此場合
ノ跡始末ハ小倉市ガ考ヘナケレバナラ
ナイト同ジャウナ考デハナイカト云フ
スカ

○高橋(熊)委員 今ノニ關聯シタ問題
ナッテ居ルモノガ、是ガ全クナクナッテ
シマヒマシテ、競馬俱樂部ニ數十萬圓
ノ年々收入ガアリマシタモノガナクナ
ル譯ニアリマスカラ、競馬俱樂部ノ經
済モ中々苦シイコトデアラウ、隨テ果
シテ御話ノヤウニ快ク續ケテ寄附金ヲ
出シテ吳レルカドウカト云フコトニナ
ルト、其邊ハ誠ニ怪シイト申サナケレ
バナラヌノデアリマス、然ラバソレニ
對シテ財源ノコトヲ考ヘタカト云フ御
尋デアリマスルガ、其財源ノ關係ハド
ウシテモ地方團體ガソレダケノ寄附金
ガナクナルカモ知レナイカラ、拂戻金
ヲ「ファン」ニ返スト云フ規則ノ改正
案ニ向ツテ主張スルニハ、ドウモ少シ
ケノ剩餘金額ヲ返スト云フ今度ノ改正
案ニ贊成シタ次第ナノデアリマス、而
シテ假ニ寄附金ガナクナッタソマシ
云フノデ、農林省ノ「ファン」ニソレダ
ラウト思ツテモ取レナクナル、申サバ既
得權利ガナクナルト云フ譯ニアリマス
カラ、此農林省ノ競馬法改正案ニ贊成
スル際ニハ、ソレニ對スル補填財源ノ

是ハ寄附能力ノナクナッタモノガ寄附
アル、所ガ此俱樂部ノ方ニハ地方稅ノ
ス競馬場ガ隣リノ村ニ移リマシテ、小
倉市ニ從來ノ收入ガナクナッタ、此場合
ノ跡始末ハ小倉市ガ考ヘナケレバナラ
ナイト同ジャウナ考デハナイカト云フ
スカ

○藤井委員 サウシマスト神奈川縣ト
福岡縣ハ約十五萬圓程、他ノ地方ハ約
四十五萬圓程ノ寄附ヲ持ツテ居ルノデ
アリマス、農林大臣ノ御説明ヲ承ツテ
居リマスルト、約六十萬圓程ノ金ガ從
來府縣地方ニ寄附ニナッテ居ッタノデア
ル、ソレガ此度ノ改正案ニ依ツテ農林
省ニ參ルコトニナッタ、農林省ニ參ッタ
金ガ——參ツタト申スカ、一般會計ニ這
入ルノデアリマスガ、ソレハ救護法ノ
方ニ參ルノデアル、斯ウ云フ御説明デ
アリマシタガ、大體十五萬圓程ハ神奈
川縣ト福岡縣デ、四十五萬圓ハ他ノ地
方ノ競馬俱樂部ノ收入ニナッテ居ッタ
思フノデアリマスガ、サウシマスト神
奈川縣、福岡縣ノ地方稅トシテ取ツテ
居リマスモノハ、只今御説明ニ依ツテ
大體其財源ヲ補填スル方法ヲ内務省ガ
御考ニナッテ居ルヤウデアリマスケレ
ドモ、殘リノ四十五萬圓ト云フモノハ
今後各關係ノ地方廳ト云フモノガヤリ
緑リヲセネバナラヌト云フコトニナリ
マスナラバ、御承知ノ通リノ不況ノ際
デアリマスカラ、四十五萬ト申シマス
レバ相當ナ金額デアルト考ヘルノデア

ラ取ッテ居ルノデアルカト云フコトヲ承リ、サウシテ只今剩餘金ヲ返スコトハ反対ガ出來ナカッタ云フナラバ、六萬圓ヲ地方ニ與ヘルト云フコトハモ其問題デキマル譯デハナイ、競馬俱樂部ニ一種ノ寄附能力ガ出テ來ルト云フコトニナルト、其寄附能力ヲナクサレバ宜シイ、サウスルト國デ取ル稅金、寄附金ト云モノ、率ヲ少クスレバ宜イ、或ハ今マデ通リニシテ置ケバ宜イ、或ハ二分上グルノヲ一分上ゲテモ宜イ、何モ此關係ノ方デソレヲ餘計取テシマハナケレバナラスト云フコトハナイ、ソンナコトニ御同意ニナラナイト云フコトハ何デモナイコトデアル、地方財政ヲ膏スモノデアルカラ、ソンナ値上ヲシテハイカヌト云フコトハ内務當局トシテ當然デハアリマセヌカ、ドウモ私共ハ内務當局ノ用意ガ分ラヌバカリデナク、先程藤井君ニ對スル御答辯ヲ能ク吾々承^ツテ居^ツタノデアリマスガ、分ラナイ、内務大臣ノ御答辯ヲ御引用ニナ^ツタガ、内務大臣ノ御答辯ノ内容ハ、財政ノ餘裕ノ付イタ時分ニ相當ニ考慮スルト云フコトデアルガ、考慮シナイト云フノト考慮スルト云フノハドレダケ違フカ、今日ノ財政ノ窮乏ト思フ、今日地方財政ガドレ程窮乏シ

テ居ルカト云フコトハ他ノ方ニ分ラナ
クテモ、地方局長ニハ最モ能ク分ラナ
ケレバナラヌ、サウ云フヤウナ場合ニ
今ノヤウナ薄弱ナル理由デ以テ農林省
案ヲ鵜呑ニサレタト云フコトニ付テ
ハ、私共ハ疑問トシテ居ルノデアリマ
ス、ソレデ只今質問致シマシタル此四
縣ノ寄附金ノ收入ハドウ云フ状態ニ
ナツテ居ルカト云フコトハ、其六十萬圓
ノ缺陷ト云フモノハ如何ニシテ補充ス
ルカト云フコトノ、モウ少シ的確ナル
所ノ計畫ガナケレバナラヌノデス、ソ
レヲ承リタイ

從來地方ニ於テ各俱樂部ガ納メテ居リ
マシタ六十萬圓ト云フモノハ、全部二
般收入ニ來ルモノデアル、此來タモノ
ヲ大體ニ於テ昭和六年度ニ於キマシテ居
救護法ニ使フノデアル、斯ウ云フ御言
明デアリマスカラ、俱樂部ガ尙ホ進ン
デ將來ニ於テ寄附金ヲ出サウナドト云
フヤウナコトハ、絕對ニ豫想スルコト
ガ出來ナイト考ヘルノデアリマス、大
體此度ノ建前ト云フモノガ、局長ヲ捉
ヘテ此内閣ヲ攻撃スルコトモ甚ダ變、デ
アリマスガ、ドウモ地方ニアリマス財
源ヲ取來ツテ、中央政府ノ財政ノヤリ繩
リヲスルヤウナ嫌ヒガ各所ニ現ハレテ居
ルノデアリマス、而シテ此度本案ヲ
改正シマシテ、此財源ノ中カラ救護法
ノ金ヲ產出スト云フコトモ、要スルニ
地方民ノ財源ヲ奪ヒ來ツテ、奪フ結果地
方民ガ更ニ負擔ヲ増サネバナラヌト云
フヤウナコトヲ致シテ、中央政府財政
ノ缺陷ト云フモノヲ埋合セテアルモノ
デアルト考ヘルノデアリマスガ、地方
局長ハ此本案改正ニ依リマスル財源等
ニ付テハ、斯様ニ御考ニナツテ居リマセ
ヌカドウカ、御尋シテ置キマス

マシテモ約三百萬圓ノ財源ヲ必要トスルノアリマス、其地方ノ財源ノ中、大體申シマスレバ、ソレデ救護法ノ施行ニ要スル費用半分ヲ府縣ガ負擔シ、半分ヲ市町村ガ負擔スルト云フコトニナルノアリマス、ソレデ救護法ノ施行ニ要スル費用ノ中、國ニ必要トスルモノハ、大體ニ於テ公認競馬カラ入ツテ來ル政府納付金ノ一部分ヲ使フ、ソレカラ地方ノ地方費ガ救護法施行ノ爲ニ膨脹致シマス分ハ、其一部分ハ地方競馬ノ收入デ、地方競馬ニ觀覽稅ヲ掛ケルナリ、納付金ヲ取ルト云フコトニ依ツテ、其收入デ以テ一部分ヲ辨ズルコトニシヨウ、斯ウ云フ建前デ農林省ト打合セヲシタノデアリマス、隨ツテ今マテ地方稅ヲ取ツテ居リマシタ横濱市及ヒ福岡縣ニハ、地方稅ヲ取ラセナイコト、致シマシテ、恰度ソレト同ジ程度ノ金ガ政府納付金ノ形デ國庫ニ入ツテ參リマス、其點ハ沟ニ御話ノ通リニソレダケ地方費ノ財源ヲ奪ツテ國費ニ充テタト云フ非難ハ免レナイト考ヘマス、私共モ國ノ財政ノ都合デ地方費ガ迷惑ヲ受ケルト云フコトハ洵ニ望マシクナイ事デアルト云フコトハ、獨リ此問題バカリデハアリマセヌ、始終サウ云フコトヲ考ヘ、地方財源ノ擁護ト申シマセウカ、地方ノ財源

ト新タニ與ヘル、持テ居ルモノハ他ニ
取ラレナイヤウニスルコトニ付テハ、
出來ルダケノ事ヲ平生カラ致シテ居ル
積リデアリマス、サウ云フ次第デ、國
ト地方トヲ分ケテ、府縣ノ方ノ救護費
ハ地方競馬ノ方カラ入ル收入ヲ以テ辨
ジヨウト云フ譯デアリマシテ、國ノ方
ニ救護費ニ要スル金ガ百萬圓入ルト同
時ニ、府縣ニモ地方競馬カラ來ル百萬
圓ノ新シイ收入ヲ得ル譯ナノデアリマ
ス、語ヲ換ヘテ申シマスレバ、府縣ニ
對シテ全體トシテ百萬圓ノ新シイ財源
ヲ與ヘルコトニ致シタイト考ヘテ居ル
ノデアリマス、一ツノ縣ニ付テ考ヘマ
スレバ、或ル縣ハ今マデ公認競馬ガ全
クアリマセナカツタ縣ハ、其地方競馬カラ
入ルダケハ全部儲カル、地方團體カラ
申シマスレバ、新シイ財源ヲソレダケ全
部得ルト云フコトニナルノデアリマス、
京都府ノ如キ、今マデ公認競馬ノアリ
マシタ所ハ、ソチラノ方カラ入ル寄附
金ガナクナッテ、其代リニ地方競馬カラ
入ル新シイ財源ガ茲ニ出テ來ル、ソレ
ヲ計算致シマスレバ、京都府デハ恐ラ
ク幾ラカ足リナイコトニナルダラウト
思フノデアリマスガ、府縣全體カラ申
シマスレバ、百萬圓ノ新シイ財源ヲ、
昭和七年度以降ニ於テ與ヘタイ、昭和
六年度ハソンナニ要リマセヌカラ、ソレ
程マデハ取ラセナイ積リデアリマス、

サウ云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、是ハ内務省ト致シマシテ、地方財政ヲ決シテ閑却政シテ居ルモノデハアリマセヌト云フコトヲ申上ゲル次第デアリマスカラ、詳細ニ承ラナケレバナラヌト思フノデス、只今農林當局カラ御提出ニナツタル、年次各俱樂部地方稅及地方稅ニ代ル寄附金調ト云フモノガアリマスガ、先程次田局長ヨリ御答辯ニ相或ツタ數字ト多少違ツテ居ルバカリデナク、横濱福岡ニ於テ地方稅トシテ取入レテ居ル稅金ガ幾ラト言ハレタガ、ソレハ小倉ノ方ダケハ四萬三百圓ト云フノガ四年度ニアリマスガ、五年度ニ於テハ地方稅トシテハ何等ナク、全部寄附金ニナツテ居ル、ソレデ福岡縣竝ニ横濱市ニ於ケル地方稅ト云フモノガ今日モアルノデアルカ、ソレトモ局長ノ言ヒ誤リデアッテ、農林當局ノ御提出ニナツタ方ガ正シイノデアルカ、先ヅソレヲ承リマス

○次田政府委員 ソレハ先程一寸御説明ヲ申上ゲマシタ通リニ、横濱市及ビ福岡縣ニ對シテハ地方稅ヲ許シテ居ルノデアリマス、隨テ横濱市及ビ福岡縣

ハ、横濱ノ俱樂部、小倉ノ俱樂部ノ馬券賣得行爲ニ對シテ税金ヲ課スル權能ヲ現在持ツテ居ルノデアリマス、併ナガラ愈々馬券賣得稅ヲ、曾テ小倉デ試ミテ見マシタ所ガ、非常ナ混雜ヲ生ジタ、殆ド競馬ノ實行ヲ妨ゲルト云フ狀況デアリマシタノデ、横濱ノ俱樂部、小倉ノ俱樂部カラ、横濱市及ビ福岡縣ニ申出マシテ、馬券賣得稅ヲ取ルコトヲ見合セテ貰ヒタイ、サウスレバ略シソレト同ジ金額ヲ、縣ナリ市ニ寄附ヲスルト云フコトヲ申出マシテ、縣竝ニ市ガ之ヲ承諾致シタノデアリマス、隨テ昭和五年度ニ於キマシテハ、地方稅トシテ横濱市ニ入り、福岡縣竝ニ小倉市ニ入りマシタモノハナイノデアリマスガ、併シソレハ其年限リデアリマシテ、横濱市ガ寄附金ヲ受ケナイ、若クハ横濱ノ俱樂部ガ寄附金ヲ入レナイト云フ場合ニハ、横濱市ハ内藏兩大臣ノ許可ヲ受ケテ得タ徵稅權ニ依ツテ、馬券賣得稅ヲ課スル權能ヲ今日尙ホ持ツテ居ルノデアリマス、福岡縣モ同様デアリマス、事實ニ於テ、昭和五年度ハ課シマセヌ課スル馬券賣得稅ニ對シテ、更ニ其附加稅ヲ課スル權能ガアル譯デアリマス、ニアリマスナラバ、小倉市ハ福岡縣ノニシタケレドモ、横濱市及ビ福岡縣ハ馬券賣得稅ヲ課スルコトガ出來ルノデ

○高橋(熊)委員 私ハ先程次田局長ノ御言明ニ依フテ非常ニ驚イタノデアリマスガ、救護法ノ地方財源、詰リ地方收入ヲ目標トシテ居ルト云フコトニ付テ實ハ驚イタ、斯ノ如キ事ハ私共夢ニモ思ツテ居ラナカッタノデアリマス、唯救護法ニ關聯シテ居ル競馬關係ノ金額ト云フモノハ、農林當局カラ御言明ノアツタ所ノ金額位ノ事デアルト考ヘテ居ツタ、農林大臣ニ色々ノ事ヲ伺フト云フト、内務大臣カラ聞イテ吳レタ方ガ宜カラウト言ハレル、ソレハ農林大臣ノ口カラコンナ事ヲ暴露シテハ大變ダト云フノデ御用心ニナツタヤウニ今ニナツテハ考ヘラレル、(笑聲)其通リデヤナイカ、コンナ大切ナ事ヲ豫メ吾々ノ耳ニ入レテ置カナイト云フコトハ、不届千萬ト吾々考ヘテ居ル、恐クハ與黨ノ諸君ダツテソソンナ事ハ知ラナカッタラウト思ツテ居ル、ソレナラバ私共又第二ノ疑問ガ起ルノデアリマスガ、地方競馬ヲ持ツテ居ル所ハ多少ノ收入ハアリマセウ、地方競馬ノ盛ナ所ハアリマセウ、地方競馬ヲ持ツテ居ナイ所、地方競馬ノ餘り盛デナイスハ、救護財源ハドウスルカト云フ問題ガアリマセウ、一ノ縣ハ救護財源ガ豊富デアル、別ノ縣ハ左程デハナイト云フ、サウ云フヤウ

ナ馬鹿ラシイ事ハアリ得ナイコトデハ
ナイカト吾々モ考ヘラレルノデアリマ
ス、殊ニ地方ニ於ケル馬事振興ト云フ
コトハ是亦大切ナ問題デアル、國費ダ
ケデ馬事其他ノ畜産ノ振興ヲヤッテ居
ルノデハナイ、地方費ハ餘程支出ヲ致
シテ居リマス、ソレデ此地方費ニ競馬
收入ナドハ大イニ與ヘルヤウニシテヤ
ラウト云フ考モアリマセウ、ソレデア
リマスカラ地方ノ競馬ノコトハ、十分
嚴重ニ地方長官ハ之ヲ取締ッテ居ルノ
デアリマス、サウ云フヤウナ場合ニ、
約百萬圓程度ノ收入ヲ地方競馬カラ求
メルナドト云フノハ、大變ナコトダト
吾々ハ考ヘテ居ル、ソレデ私共ハ地方
競馬ノ收入ト云フモノハ、ドウ見積ル
ノデアルカ、地方救護費ニドウ云フ程度
ニ見積ラレテ居ルモノデアルカ、六年
度竝ニ平年度ニ於ケル所ノ豫定ヲ、一
ツ詳細ニ承リタイト思フノデアリマス
○次田政府委員 私少シ言葉ノ足ラナ
カツタ點ヲ發見致シマシタカラ、ソレヲ
訂正致シテ置キマス

思ッテ居ルノデアリマス、地方ニ新シイ
財源ヲ興ヘルノハ、ドノ位ノ財源カト
申セバ、救護法實施ト同時ニ、約百萬
圓位ノ新シイ財源ヲ興ヘタイト考ヘテ
居ルト云フコトヲ申上ゲタ譯ナノデア
リマス

ニ都合ガ好ク行き、或點ハ非常ニ都合
ガ惡イト云フコトハアルノデアリマス
カラ、全體トシテ制度ヲ考ヘマスル時
ニハ、全體ノコトヲ見マシテ、或縣ニ
於テソレガ希望通リニ行カナイ場合ガ
アリマシテモ、是ハドウモ已ムヲ得ナ
イト云フ風ニ考ヘナケレバナラヌ場合
ガアルノデアリマス、大體ニ於テ新シ
ク地方ニ百萬圓ノ財源ヲ與ヘル、而シ
テ其百萬圓ハ、大體ニ於テ各府縣ニ行
渡ルト云フコトデアリマスルナラバ、
此邊デ地方團體ニ我慢シテ貰フヨリ外
致シ方ガナイト云フ風ニ考ヘテ居ルノ
デアリマス、御話ノ如ク過不足ガアル
ト云フコトヲ私共モ認メマスガ、是ハ
中央デ統一シタ制度ヲ作リマス際ニ
ハ、多少ノコトハ地方團體ニ辛抱シテ
貰ハナケレバナラヌト、斯ウ考ヘテ居
ルノデアリマス

ニ納メルコトニナルノカ、然ラバ何レ
ノ場合ニ致シマシテモ、府縣町村別ト
云ヒマスカ、府縣ニ依ッテドレダケノ
收入ガアルカ、百萬圓ノ收入ノ各府縣
別ト云フモノヲ、吾々ニ示シテ戴カナ
ケレバナルマイト思フノデアリマス、
又特ニ市町村ニ依ッテ取ル處ト取ラナ
イ處ガアル、ソレハ非常ナ是ハ不公平
ニナリマスカラ、特別ニ考慮シナケレ
バナラヌガ、先ヅ各府縣ノ百萬圓ト云
フモノハ、府縣ノ財源ト云フモノニ吾
吾ハ解釋シテ、市町村ノ方ノ財源ハ含
ンデナイ、斯ウデハナイカト思フノデ
ス、此邊ハ如何デアリマスカ

○次田政府委員 地方競馬カラ得ル收
入ヲ以テ、一部ヲ地方ノ救護費ニ充テ
ルト云ヒマスカ、其ヤリ方ニ付キマシ
テハ、現在ノ所ハ觀覽稅ノ外ナインデア
リマス、何レ是ハ地方競馬法トデモ云
フヤウナ法律ヲ制定シテ、其法律ノ中
ニ、今度ノ競馬法中ニアリマスル政府
納付金ノ如キモノヲ設クル時機モ來ル
カト思ヒマスガ、只今ノ所デハ地方稅
ノ雜種稅ノ一種デアル所ノ觀覽稅ヲ徵
スルノ外ナインデアリマスガ、觀覽稅
ハ入場者カラ取りマス、畜產組合ガ競
馬ヲヤリマス場合デモ、畜產組合カラ
取ルノデハアリマセヌノデ、入場者カ
ラ直接入場券一枚ニ付テ幾ラト云フ風
ニシテ取ルノデアリマス、隨テ現在ノ

建方カラ申シマスレバ、其府縣稅ニ對シテ所在ノ市町村ガ附加稅ヲ取ルト云フコトニ、是ハ當然ナルノデアリマス、併ナガラ是ハ昭和六年ハサウ云フ譯デアリマスガ、昭和七年度迄ニハ、其點ハ十分ニ考慮シテ見タイト思ッテ居リマス

ソレカラ百萬圓ト申シマシタノハ、假ニ入場料ノ百分ノ五取ルト致シマスレバ、詰リ一圓ノ入場券ニ對シテ五錢ノ觀覽稅ヲ取ルト致シマスレバカリノ收入ニナルノデアリマス、是ハ話ハ逆戻リニナリマスガ、公認競馬ノ場合ニ於テモ、寄付金ヲ納メテ居リマスノハ、府縣ニハ澤山ニ納メテ居リマスガ、地元ノ市町村ニハ、府縣ニ納メル程ハ納メテ居ナイノデアリマス、地元ノ市町村ニ納メテ居リマスル金ハ三千圓トカ四千圓トカ云フ金デアリマシテ、此方ノ地元ノ町村ニ納メテ居リマスル金ハ、今度ノ競馬法ガ改正ニナリマシテモ、恐ラク引續キ納メハ御参考ノ爲ニ申添ヘテ置キマス

地方競馬ノ場合ニ、地方競馬カラ入ル收入ヲ、ドウ云フ風ニ按配スルカ、只今ノ所デハ觀覽稅ヲ取ルノ外ナイト思ヒマスカラ、其觀覽稅ノ附加稅ハ地元ノ市町村ニ入ルコトニナルノデアリマス

○高橋(熊)委員 此觀覽稅ノ四年度、五年度ニ於ケル實績ハ、御分リデセウト居リマスカ

○次田政府委員 只今ハ地方競馬ニ對シマシテ餘リ多クノ觀覽稅ヲ許シテ居ナイノデアリマス、昭和六年度カラ救護法ヲ實施スルト云フコトニナリマスルナラバ、其財源ノ一部ニ當テル爲ニ地方競馬ニ對シテ觀覽稅ヲ許スコトニ致シタイト考ヘテ居リマス、但シ昭和五年ノ現ニ許シテ居リマスル觀覽稅ノ實績ハ分ツテ居リマスカラ後刻表ニシテ御目ニ掛ケルコトニ致シマス

○高橋(熊)委員 後程デ宜シウゴザイマスガ各府縣別ノ合計ハ幾ラニナッテ居リマスカ

○次田政府委員 只今ノ所私ノ所ニ材料ヲ持ツテ居リマセヌカラ後刻申上げルコトニ致シマス

「其表ハ此處ニ在ル」ト呼フ者アリ

○高橋(熊)委員 入場料ハ此處ニアリマスルガ、之ヲ土臺ニ致シマシテ、ソレノ百分ノ五ト云フトドウ云フ數字ガ生レマセウカ、サウスルト今ノ實績ガ分ツテカラドレダケノ増稅ニナルト云フコトハ——一寸增稅ト云フ言葉ハドウデスカ、兎モ角増稅ニナルコトニナリマス、地方競馬トシテモ相當ニ考慮

○高橋(熊)委員 入場料ハ此處ニアリマスルガ、之ヲ土臺ニ致シマシテ、ソレカラ地方ニハ國ノ有餘タ殘リノモノニ稅金ヲ賦課スルト云フ外ニ特殊ノ財源ヲ持タナイ、斯ウ云フ場合ニ國ノ財政ノ窮乏ノ結果競馬法ヲ改正シテ救護ニ對シテ使ツテ居ル金ガ百八十一萬六千餘圓アルノデアリマス、其全部ヲ救護法施行ノ費用ニ充テル譯ニハ參

○次田政府委員 只今ノ市町村ノ費用ヲドウスルカト云フ、其方カラ申上げテ見タイト思ヒマス、現在市町村ニ窮民救護ニ對シテ使ツテ居ル金ガ百八十一萬六千餘圓アルノデアリマス、其全部ヲ救護法施行ノ費用ニ充テル譯ニハ參

リマセヌノデアリマス、故ニ其中ノ百三十七萬二千餘圓ヲ救護法施行ノ費用ニ振向ケルコトガ出來ルノデアリマス、現ニ救護法ノ費用ト同ジャウナ救護ガ市町村ノ方デヤツテ居ルノデアリマス、相手モ同ジ事、吳レル金ノ出所モ同ジ事、唯救護法實施トシテ窮民ニ金ヲ吳レルト云フコトニナリマシテ、ソチラノ方ニ轉用シ得ル金ガ百三十七萬二千餘圓アルノデアリマス、假ニ町村ノ救護法ノ費用ニ要スルモノガ百五十萬圓デアルト致シマスレバ、其差額タケヲ新ニ市町村ガ負擔スルト云フコトニナリマス、ソレガ十何萬圓デアルカ、二十萬圓ニナルカ、三十萬圓ニナルカ知レマセヌガ、兎モ角ソレダケノ金ヲ全國ノ一萬一千何百ト云フ町村デ負擔スルコトニナルノデアリマス、是ハ現在ノ市町村ノ窮乏セル財政狀態ニ於テモ何トカヤリ繰リガ付クモノト考ヘテ居ルノデアリマス

手順ニナッテ居ルト申シマスカ、手配ヲ進行致シテ居ルト云フコトデアリマス
○高橋(熊)委員 左様ナ手順ダトカ手配ダトカ言ハレルガ、是ハ既ニ昨年ノ九月頃ニ其手順ハ濟ンデアル筈デアリマス、施行法モ社會事業ノ調査會ニ掛ケル手順ハ九月ニ濟ンデ居ル筈デアル、ソレデアリマスカラ、左様ナコトハ前以テヤッテ、サウシテ此救護法ノ準備ニ掛ルベキ筈ナンデアル、ソレヲ怠フテ居タト云フコトハ、救護法ヲ急速ニ行フト云フヤウナ誠意ガ内務省ニナカッタト認メ得ラル、デアラウト思フノデスガ、ソレハ如何デスカ

○次田政府委員 私聽キ間違ヲ致シタノデアリマシテ、昨年ノ九月ニ施行令ハ既ニ譲ツテ居ルト云フコトデアリマス、但シ社會事業調査會ニ於キマシテシタイト云フコトデ、マダ決定ニ至ッテ豫算ガ決定シタ上デ、此勅令案ヲ決定居リマセヌノデアリマスガ、幸ニ此豫算ガ成立致シマシタラバ直グニモ決定スルコト、思ヒマス

○高橋(熊)委員 只今御答辯ノ通リデ、隨分此事ニ付テハ内務省ハ熱心ニ實施ヲ圖フテ居ルト言ウノデアリマスケレドモ、實際ハ左様ニナッテ居ナイ、私モ社會事業調査會ノ一委員ヲ嘱託ニ相成ツテ居ルノデアリマシテ、是等ニ付テハ一日モ早ク實施セラレンコトヲ希望

シテ居ルノデアリマスガ、委員會ナド
ハ一回モナイ、私共ハ夏頃——六月頃
デシタカ、七月頃デシタカ、辭令ヲ頂
戴シタノデスガ、一回ダッテソソナ委員
會ヲ開催サレタト云フコトガナイ、サ
ウ云フヤウナ狀態ニ相成ツテ居ルノデ
アル、サウシテ段々町村ノ方ニハ救貧
ニ關スル事業費ガ百八十一萬六千圓ア
ルト云フヤウナコトガ一方ニ於テ言ハ
レル、其中カラ救護法ニ轉用ノ出來ル
モノハ百三十七萬幾ラアル、斯ウ云フ
コトヲ言フケレドモ、今日ハ救護ニ付
テドンナニ苦痛ヲ感ジテ居ルカ御分リ
デアラウシ、又其通リト思フ、一部分
ハ資金モアリマセウ、積立金モアリマ
セウ、其利子ヲ以テドウスルト云フ金
モアリマセウ、斯ウ云フ積立ナント云
フモノハ僅カダラウト吾々ハ考ヘテ居
ル、ヤハリ租稅公課ト云フヤウナモノ
ノ部分ヲ割イテ是等ノ費用ヲ出スモノ
デアラウト私共ハ考ヘル、多年窮迫シ
テ居ル村、窮迫シテ居ル町ニ於テ救護
サルベキ人員ガ却テ多イノデアリマ
ス、斯ウ云フコトモ一方ニ於テ吾々ハ
考ヘナケレバナラヌ、ソレガ其町村ノ
ナドハ町村カラアナタ方ハ御取寄セニ
ナラヌカモ知レナイケレドモ、實際ハ
ヤウナ、御役所ノ非常ニ困ルヤウナ表
サウナツテ居ル、困ル村程負擔能力ガナ

イノデスカラ、是等ニ付テハ困ツテ居ル、
サウ云フ場合ニ當ツテ私共ハ此地方競
馬ノ收入デ以テ救護法實施ノ一部ニ充
テラレルト云フコトハ、地方民ニ對シ
テハ非常ニ困ルコトニ相成ツテ居ル、此
點ハ農林當局ハドウ云フ工合ノ御考ニ
ナツテ居ツタノデスカ、此地方競馬ニ對
スル大藏、内務當局ノ御説明ガアリ、
ソレニ對シテ吾々ノ疑義ヲ今質シテ
居ツタノデスガ、農林當局ハ地方競馬ヲ
スウ云フコトヲヤラセテモ何等差支ナ
ク進歩發達ヲシテ行クト云フヤウナ御
見込デアルカドウカト云フコトヲ、此
場合承^ヲテ置キマス

損ニナルト云フヤウナ競馬ハ少クナ
イ、山形縣ノ如キソレデアル、ソレデ
毎年々々争ガ繼續サレテ居ル、斯ウ云
フ所ニ在ツテハ、將來觀覽稅ヲ課ケテ收
入ヲ圖ルト云フテモ、是ハドウカ分ラ
ス、公認競馬ガ發達シテ居ル處ハ、地
方競馬モ必ズ發達シテ居ルト云フ譯ニ
ハ參ラヌト思フ、隣リノ縣デハ地方競
馬デ上ツタカラ、此方ノ上ラナカツタ縣
ト差引スレバ宜イト言ツタヤウナコト
ハ、内務省ノ方デ表ヲ見テヤル時ニハ
損ヲシタ分ハ、栃木縣デ儲ケタ分デ差
引スレバ宜イト云フヤウナコトハ、國
政ヲ與ル時ニハ全般ヲ見ナケレバナラ
スケレドモ、ソンナ全般ノ見方デハ、
地方民ハ堪ツタモノデハナイ、一方ニ於
テ不況ノドン底ニ在ツテ、首モ縊メナ
ケレバナラヌ、心中モシナケレバナラ
ヌト云フモノガアルノニ、三井、三菱
ノヤウナ金持ガアルカラト言ツテ、ソレ
ヲ平均スレバ富ノ増減ハ同ジデナイカ
レルモノデハアリマスマイ、殊ニ内務
省ハソンナ大難駭ナ頭デハイカヌ、大
藏省ナラ先ヅソンナコトヲ考ヘルカモ
知ラヌケレドモ、内務省ヤ農林省ハ、
ソンナコトデハイケナイ、百姓相手ダ
カラ、サウ云フコトヲモウ少シ御考ヘ
下サラヌケレバ相成ラヌダラウト思

フ、亦農林大臣ニ致サレテモ、内務省
關係ダカラ俺ハ知ラナイナント云フコ
トヲ言ハレナイデ、農民ガ困レバ低利
資金ヲ貸シテヤラウト云フマデニ奮發
ヲシテ、ドウカ農村ヲ救濟シヤウト云
ハ時ニ、其ニモ因ツテ居ルノハ、馬ヤ
牛ヤ、畜產關係ノ者デス、外ノ物ナラ
レドモ、馬ヤ、牛ヤ、生者ヲ飼ツテ置ケ
バ、用心サヘスレバ盜マレナイデ濟ムケ
レドモ、馬ヤ、牛ヤ、生者ヲ飼ツテ置ケ
ナ、サウ云フコトデ、畜產關係ノ者ハ
ハ與ヘナイト、吾々ノ所有物ニハナラ
ナイ、サウ云フコトデ、畜產關係ノ者ハ
此不況デ最モ苦シイノデス、不況デア
ッテモ出スモノハ出シテ行カナケレバナ
ラヌ、是ハ借金ト云フ生物ヲ飼ツテ居ル
ト同ジコトナンデス、幾ラ損ヲシテモ
利息ハ支拂ハナケレバナラヌ、幾ラ損
ケレバナラヌ、心中モシナケレバナラ
ヌト云フモノガアルノニ、三井、三菱
ノヤウナ金持ガアルカラト言ツテ、ソレ
ヲ平均スレバ富ノ増減ハ同ジデナイカ
レルモノデハアリマスマイ、殊ニ内務
省ハソンナ大難駭ナ頭デハイカヌ、大
藏省ナラ先ヅソンナコトヲ考ヘルカモ
知ラヌケレドモ、内務省ヤ農林省ハ、
ソンナコトデハイケナイ、百姓相手ダ
カラ、サウ云フコトヲモウ少シ御考ヘ
下サラヌケレバ相成ラヌダラウト思

フ、亦農林大臣ニ致サレテモ、内務省
關係ダカラ俺ハ知ラナイナント云フコ
トヲ言ハレナイデ、農民ガ困レバ低利
資金ヲ貸シテヤラウト云フマデニ奮發
ヲシテ、ドウカ農村ヲ救濟シヤウト云
ハ時ニ、其ニモ因ツテ居ルノハ、馬ヤ
牛ヤ、畜產關係ノ者デス、外ノ物ナラ
レドモ、馬ヤ、牛ヤ、生者ヲ飼ツテ置ケ
ナ、サウ云フコトデ、畜產關係ノ者ハ
ハ與ヘナイト、吾々ノ所有物ニハナラ
ナイ、サウ云フコトデ、畜產關係ノ者ハ
此不況デ最モ苦シイノデス、不況デア
ッテモ出スモノハ出シテ行カナケレバナ
ラヌ、是ハ借金ト云フ生物ヲ飼ツテ居ル
ト同ジコトナンデス、幾ラ損ヲシテモ
利息ハ支拂ハナケレバナラヌ、幾ラ損
ケレバナラヌ、心中モシナケレバナラ
ヌト云フモノガアルノニ、三井、三菱
ノヤウナ金持ガアルカラト言ツテ、ソレ
ヲ平均スレバ富ノ増減ハ同ジデナイカ
レルモノデハアリマスマイ、殊ニ内務
省ハソンナ大難駭ナ頭デハイカヌ、大
藏省ナラ先ヅソンナコトヲ考ヘルカモ
知ラヌケレドモ、内務省ヤ農林省ハ、
ソンナコトデハイケナイ、百姓相手ダ
カラ、サウ云フコトヲモウ少シ御考ヘ
下サラヌケレバ相成ラヌダラウト思

フ、亦農林大臣ニ致サレテモ、内務省
關係ダカラ俺ハ知ラナイナント云フコ
トヲ言ハレナイデ、農民ガ困レバ低利
資金ヲ貸シテヤラウト云フマデニ奮發
ヲシテ、ドウカ農村ヲ救濟シヤウト云
ハ時ニ、其ニモ因ツテ居ルノハ、馬ヤ
牛ヤ、畜產關係ノ者デス、外ノ物ナラ
レドモ、馬ヤ、牛ヤ、生者ヲ飼ツテ置ケ
ナ、サウ云フコトデ、畜產關係ノ者ハ
ハ與ヘナイト、吾々ノ所有物ニハナラ
ナイ、サウ云フコトデ、畜產關係ノ者ハ
此不況デ最モ苦シイノデス、不況デア
ッテモ出スモノハ出シテ行カナケレバナ
ラヌ、是ハ借金ト云フ生物ヲ飼ツテ居ル
ト同ジコトナンデス、幾ラ損ヲシテモ
利息ハ支拂ハナケレバナラヌ、幾ラ損
ケレバナラヌ、心中モシナケレバナラ
ヌト云フモノガアルノニ、三井、三菱
ノヤウナ金持ガアルカラト言ツテ、ソレ
ヲ平均スレバ富ノ増減ハ同ジデナイカ
レルモノデハアリマスマイ、殊ニ内務
省ハソンナ大難駭ナ頭デハイカヌ、大
藏省ナラ先ヅソンナコトヲ考ヘルカモ
知ラヌケレドモ、内務省ヤ農林省ハ、
ソンナコトデハイケナイ、百姓相手ダ
カラ、サウ云フコトヲモウ少シ御考ヘ
下サラヌケレバ相成ラヌダラウト思

フ、亦農林大臣ニ致サレテモ、内務省
關係ダカラ俺ハ知ラナイナント云フコ
トヲ言ハレナイデ、農民ガ困レバ低利
資金ヲ貸シテヤラウト云フマデニ奮發
ヲシテ、ドウカ農村ヲ救濟シヤウト云
ハ時ニ、其ニモ因ツテ居ルノハ、馬ヤ
牛ヤ、畜產關係ノ者デス、外ノ物ナラ
レドモ、馬ヤ、牛ヤ、生者ヲ飼ツテ置ケ
ナ、サウ云フコトデ、畜產關係ノ者ハ
ハ與ヘナイト、吾々ノ所有物ニハナラ
ナイ、サウ云フコトデ、畜產關係ノ者ハ
此不況デ最モ苦シイノデス、不況デア
ッテモ出スモノハ出シテ行カナケレバナ
ラヌ、是ハ借金ト云フ生物ヲ飼ツテ居ル
ト同ジコトナンデス、幾ラ損ヲシテモ
利息ハ支拂ハナケレバナラヌ、幾ラ損
ケレバナラヌ、心中モシナケレバナラ
ヌト云フモノガアルノニ、三井、三菱
ノヤウナ金持ガアルカラト言ツテ、ソレ
ヲ平均スレバ富ノ増減ハ同ジデナイカ
レルモノデハアリマスマイ、殊ニ内務
省ハソンナ大難駭ナ頭デハイカヌ、大
藏省ナラ先ヅソンナコトヲ考ヘルカモ
知ラヌケレドモ、内務省ヤ農林省ハ、
ソンナコトデハイケナイ、百姓相手ダ
カラ、サウ云フコトヲモウ少シ御考ヘ
下サラヌケレバ相成ラヌダラウト思

フ、亦農林大臣ニ致サレテモ、内務省
關係ダカラ俺ハ知ラナイナント云フコ
トヲ言ハレナイデ、農民ガ困レバ低利
資金ヲ貸シテヤラウト云フマデニ奮發
ヲシテ、ドウカ農村ヲ救濟シヤウト云
ハ時ニ、其ニモ因ツテ居ルノハ、馬ヤ
牛ヤ、畜產關係ノ者デス、外ノ物ナラ
レドモ、馬ヤ、牛ヤ、生者ヲ飼ツテ置ケ
ナ、サウ云フコトデ、畜產關係ノ者ハ
ハ與ヘナイト、吾々ノ所有物ニハナラ
ナイ、サウ云フコトデ、畜產關係ノ者ハ
此不況デ最モ苦シイノデス、不況デア
ッテモ出スモノハ出シテ行カナケレバナ
ラヌ、是ハ借金ト云フ生物ヲ飼ツテ居ル
ト同ジコトナンデス、幾ラ損ヲシテモ
利息ハ支拂ハナケレバナラヌ、幾ラ損
ケレバナラヌ、心中モシナケレバナラ
ヌト云フモノガアルノニ、三井、三菱
ノヤウナ金持ガアルカラト言ツテ、ソレ
ヲ平均スレバ富ノ増減ハ同ジデナイカ
レルモノデハアリマスマイ、殊ニ内務
省ハソンナ大難駭ナ頭デハイカヌ、大
藏省ナラ先ヅソンナコトヲ考ヘルカモ
知ラヌケレドモ、内務省ヤ農林省ハ、
ソンナコトデハイケナイ、百姓相手ダ
カラ、サウ云フコトヲモウ少シ御考ヘ
下サラヌケレバ相成ラヌダラウト思

フ、亦農林大臣ニ致サレテモ、内務省
關係ダカラ俺ハ知ラナイナント云フコ
トヲ言ハレナイデ、農民ガ困レバ低利
資金ヲ貸シテヤラウト云フマデニ奮發
ヲシテ、ドウカ農村ヲ救濟シヤウト云
ハ時ニ、其ニモ因ツテ居ルノハ、馬ヤ
牛ヤ、畜產關係ノ者デス、外ノ物ナラ
レドモ、馬ヤ、牛ヤ、生者ヲ飼ツテ置ケ
ナ、サウ云フコトデ、畜產關係ノ者ハ
ハ與ヘナイト、吾々ノ所有物ニハナラ
ナイ、サウ云フコトデ、畜產關係ノ者ハ
此不況デ最モ苦シイノデス、不況デア
ッテモ出スモノハ出シテ行カナケレバナ
ラヌ、是ハ借金ト云フ生物ヲ飼ツテ居ル
ト同ジコトナンデス、幾ラ損ヲシテモ
利息ハ支拂ハナケレバナラヌ、幾ラ損
ケレバナラヌ、心中モシナケレバナラ
ヌト云フモノガアルノニ、三井、三菱
ノヤウナ金持ガアルカラト言ツテ、ソレ
ヲ平均スレバ富ノ増減ハ同ジデナイカ
レルモノデハアリマスマイ、殊ニ内務
省ハソンナ大難駭ナ頭デハイカヌ、大
藏省ナラ先ヅソンナコトヲ考ヘルカモ
知ラヌケレドモ、内務省ヤ農林省ハ、
ソンナコトデハイケナイ、百姓相手ダ
カラ、サウ云フコトヲモウ少シ御考ヘ
下サラヌケレバ相成ラヌダラウト思

フ、亦農林大臣ニ致サレテモ、内務省
關係ダカラ俺ハ知ラナイナント云フコ
トヲ言ハレナイデ、農民ガ困レバ低利
資金ヲ貸シテヤラウト云フマデニ奮發
ヲシテ、ドウカ農村ヲ救濟シヤウト云
ハ時ニ、其ニモ因ツテ居ルノハ、馬ヤ
牛ヤ、畜產關係ノ者デス、外ノ物ナラ
レドモ、馬ヤ、牛ヤ、生者ヲ飼ツテ置ケ
ナ、サウ云フコトデ、畜產關係ノ者ハ
ハ與ヘナイト、吾々ノ所有物ニハナラ
ナイ、サウ云フコトデ、畜產關係ノ者ハ
此不況デ最モ苦シイノデス、不況デア
ッテモ出スモノハ出シテ行カナケレバナ
ラヌ、是ハ借金ト云フ生物ヲ飼ツテ居ル
ト同ジコトナンデス、幾ラ損ヲシテモ
利息ハ支拂ハナケレバナラヌ、幾ラ損
ケレバナラヌ、心中モシナケレバナラ
ヌト云フモノガアルノニ、三井、三菱
ノヤウナ金持ガアルカラト言ツテ、ソレ
ヲ平均スレバ富ノ増減ハ同ジデナイカ
レルモノデハアリマスマイ、殊ニ内務
省ハソンナ大難駭ナ頭デハイカヌ、大
藏省ナラ先ヅソンナコトヲ考ヘルカモ
知ラヌケレドモ、内務省ヤ農林省ハ、
ソンナコトデハイケナイ、百姓相手ダ
カラ、サウ云フコトヲモウ少シ御考ヘ
下サラヌケレバ相成ラヌダラウト思

フ、亦農林大臣ニ致サレテモ、内務省
關係ダカラ俺ハ知ラナイナント云フコ
トヲ言ハレナイデ、農民ガ困レバ低利
資金ヲ貸シテヤラウト云フマデニ奮發
ヲシテ、ドウカ農村ヲ救濟シヤウト云
ハ時ニ、其ニモ因ツテ居ルノハ、馬ヤ
牛ヤ、畜產關係ノ者デス、外ノ物ナラ
レドモ、馬ヤ、牛ヤ、生者ヲ飼ツテ置ケ
ナ、サウ云フコトデ、畜產關係ノ者ハ
ハ與ヘナイト、吾々ノ所有物ニハナラ
ナイ、サウ云フコトデ、畜產關係ノ者ハ
此不況デ最モ苦シイノデス、不況デア
ッテモ出スモノハ出シテ行カナケレバナ
ラヌ、是ハ借金ト云フ生物ヲ飼ツテ居ル
ト同ジコトナンデス、幾ラ損ヲシテモ
利息ハ支拂ハナケレバナラヌ、幾ラ損
ケレバナラヌ、心中モシナケレバナラ
ヌト云フモノガアルノニ、三井、三菱
ノヤウナ金持ガアルカラト言ツテ、ソレ
ヲ平均スレバ富ノ増減ハ同ジデナイカ
レルモノデハアリマスマイ、殊ニ内務
省ハソンナ大難駭ナ頭デハイカヌ、大
藏省ナラ先ヅソンナコトヲ考ヘルカモ
知ラヌケレドモ、内務省ヤ農林省ハ、
ソンナコトデハイケナイ、百姓相手ダ
カラ、サウ云フコトヲモウ少シ御考ヘ
下サラヌケレバ相成ラヌダラウト思

トハ申サレマセヌデシタケレドモ、殆
ド其様ナ言明ガアリ、又一般豫算ヲ拜
見シマシテモ、其豫算ノ内容ヲ見テモ、
私ハ之ヲ窺知ルコトガ出来ルノデアリ
マス、然ルニ此案ヲ突如トシテ御提出
ニナツタ段々ノ原因ヲ考ヘテ見マスル
ト、要ハ救護法ト云フコトガ一日モ缺
クベカラザルモノデアルト、斯ウ云フ
コトガ最大原因ニナツテ居ルト云フコ
トハ、如何ニ政府當局ガ御辯明ニナリ
マシテモ、吾々ハ爾カアルモノト確信
シテ已マヌ次第デアリマス、サウナリ
マスルト、此六十萬圓ト云フ地方ノ取
リマスル金ヲ、中央政府ガ收入トシテ
取上ダタヤウニナリマシタノハ、謂ハ
バ此救護法ト云フモノヲ、無理ニ競馬
法ノ改正ヲ利用シテ御作リニナラウト。
云フコトガ、最モ其原因ノ一つデアラ
ウト吾々ハ思フノデアリマス、デアリ
マスルカラ救護法ノ財源ト云フモノヲ
競馬關係、他ノ言葉デ申シマスルナラ
バ、馬事ノ改良増殖及ビ馬事思想ノ普
及ト云フヤウナ根本問題ニ觸レナイデ、
他ノ財源デ以テ之ヲ御作リニナルナラ
バ、私ハ地方ノ收入ニモ影響ナク、サ
クシテ出来ルモノデアルト思フノデア
リマス、デアリマスルカラ、政府トシ
テ、救護法ノ財源ヲ競馬ノ改正ニ依ツテ

求メナイト云フコトサヘルナラバ、
地方ノ財源ガ枯渇シテ居ル際、六十萬
圓ノ金ヲ中央政府ニ持ツテ來ル必要ガ
ナイコトナノデアリマスルカラ、内務
省ト致シマシテ是レ以外ニ求メルヤ
ウナ方法ハ絶対ニナカッタノデアリマ
セウカ、此點ヲ御尋シテ置キマス
○次田政府委員　國ノ方ノ救護費ヲ、競
馬法ノ改正ニ依ツテ得タ所ノ、政府納付
金ノ増加ト云フモノニ求メタト云フコ
トニ付テハ、私所管外デアリマスカラ、
外ノ政府委員カラ御答致シマス、唯地
方稅ノ關係ニ付申上ゲマス、救護法ハ
申スマデモナク既ニ兩院ノ協賛ヲ經テ
法律ニナツテ居ル、其救護法實施ノ費
用ハ二分ノ一國デ持ツ、四分ノ一ハ府
縣デ持ツ、四分ノ一ハ市町村デ持ツト云
フコトニナツテ居ルノデアリマス、是ハ
救護法ヲ施行致シマスル以上、府縣ガ
其費用ノ四分ノ一ヲ持ツ、市町村ガ其費
用ノ四分ノ一ヲ持ツト云フコトハ、是ハ
法律ノ結果當然生ズル所ノ義務ナノデ
アリマス、救護法ヲ國デ施行シナイト
云フコトデアレバソレマデバアリマス
ガ、施行スル以上ハ府縣市町村ハ、何
トカシテ是ダケノ金ハ捻出シナケレバ
ナラヌト云フコトヲ私共考ヘマシテ、
出来ルダケ苦痛ノ少ナイ方法デ、是ダ
ケノ金ヲ捻出致シタイト云フ趣旨デ色
色調査ヲ致シテ見マスト、府縣ト市町

村デ約百三十何萬圓ト云フモノハ、現
在府縣市町村ノ救護費トシテ支出シテ
居ルモノヲ轉用スルコトガ出來ル、詰
リソレダケハ府縣市町村ノ負擔ヲ増加
シナイデ、救護法實施ノ費用ニ充テル
コトガ出來ル、ソレデ其費用ガ府縣ニ
於テ百萬圓、市町村ニ於テ約四十萬圓
ト云フ新シイ財源ヲ要スルノデアリマ
ス、其府縣ノ約百萬圓ノ金ヲ、ドウ云
フ方法、デ府縣ガ支辨シタラ、一番府縣
ノ苦痛ニナラナカト云フコトヲ考ヘ
テ見マシテ、是ハ何ト申シマスカ、觀
覽稅ト申ス中ニモ色々ノモノガアル譯
デアリマスガ、就中地方競馬ニ求メル
ト云フコトニナリマスレバ、之ヲ家屋
稅ノ附加稅ニ求メルヨリ、或ハ地租附
加稅ニ求メルト云フコトヨリカ、納稅
者ノ苦痛ガ少クテ濟ムデアラウト云フ
風ニ考ヘタ次第デアリマス、地方稅ノ
關係ダケ御答ヲ申上ゲテ置キマス
○藤井委員 私ハ競馬ノコトハ實ハ分
ラヌノデアリマスカラ、地方ノ競馬ノ
存ジマセヌガ、大體私ノ選舉區等ノ馬
産ノ關係ノ諸君ノ話等ヲ承ッテ見マス
ト、他ノ地方ハ如何ナル程度ノ方々デアルカ
マセヌガ、同僚山内君ニシテモ私ニシ
マシテモ、青森縣ノ特殊ノ馬產地ニ居
ルノデアリマシテ、其地方ト致シマシ
テ此競馬等ニ參リマス方ハ、多ク馬ニ

密接ナル關係ノアル、馬產ノ事業ニ深
イ關係ノアル方々ガ參ルノデアリマス
カラ、將來ニ於キマシテ地方競馬ニ於
テ百萬圓ノ金ヲ觀覽稅トシテ取ルト云
フヤウナコトニナリマスト、從來ノ六
十萬圓ノ納付金デアリマスルナラバ、
大體ニ於テ有產階級ノ人若クハ競馬ニ
特殊ノ興味ノアル方々ガ拂フノデアリマ
スカラ宜シイノデアリマスガ、地方ノ者
競馬ノ觀覽稅ト云フコトニナリマスト、
從來ノ俱樂部ガ取リマス稅金ト異リマ
シテ、却テ馬產ニ關係ノ深イ地方ノ者
共カラ稅金ヲ取ル形ニナルト考ヘマス
ガ、政府委員ハ此點ハ如何ニ御考ニナ
ルノデアリマセウカ。

話ノ如ク寧ロ観覽稅ヲ取ラナイノガ至
當トスルヤウナ所モアリマセウ、観覽
稅ヲ取りマシテモ救護法實施ニ必要ナ
ダケノ費用ヲ辨ズルコトノ出來ナイ所
モアルノデアラウト考ヘマス、サウ云
フ所デハ觀覽稅以外ノ別ナ財源ヲ工夫
シナケレバナラヌ譯デアリマスガ、併
シ四十六府縣ヲ通ジテ考ヘテ見マスト
其二三ノ例外ハソレト致シマシテ、大
體ニ於テ地方競馬ニ對スル觀覽稅ニ
依ツテ約一百萬圓ノ新規財源ヲ得ル、先
程御答致シタ通り、縣々ニ付テ考ヘマ
スレバ過不足ハ無論アリマセウ、救護
法實施ノ爲ニ要スル費用ガ割合ニ少ク
テ、地方競馬カラ這入リマス收入ガ割
合ニ多イ、斯ウ云フ所ハ詰リ儲ケルノ
デアリマスカラ、是ハ私一個ノ考デハ、
假令サウ云フヤウナ收入ガアル所デモ
救護法實施ノ費用ヲ非常ニ超過シタ率
デ觀覽稅ヲ出サセルコトハシタクナイ
ト思ツテ居リマス、兎ニ角縣ニ依ツテ幸
不幸ト申シマスカ、過不足ハ免レナイ
ノデアリマス、只今高橋サンカラノ御
叱リモアッタノデアリマスガ、之ヲ統一
シテ日本全國ニ付テ考ヘテ見マス際ニ
ハ、多少ノ例外モアルコトハ已ムヲ得ナ
イコトデアルト思ヒマス、例外ノ生ジ
マシタ所ニ付テハ其縣々々ニ付テ更ニ
考ヘナケレバナラヌト思ツテ居リマス、
唯私ノ申上ゲマシタノハ大體ノ事ヲ申

上ゲタノデアリマス
○藤井委員 此問題ハ大體此程度デ止
メルト致シマシテ、先程私ガ申シマシ
タ通り、此問題バカリデナク、例ヘバ
シテ救護法ノ財源ヲ得ルガ爲ニ、東京ニ
於キマシテハ現ニ警察費ノ政府ト共同
シテ出シテ居リマス金額ノ中デ、百十
七萬圓ト云フモノハ救護法ノ財源トシ
テ必要ニナリマスカラ、其給與ヲ停止
ナサル、斯ウ云フコトニナリマスト、
是レ亦東京市民ト云フモノハ現ニ東京
市ノ財政ハ實ニ窮迫ヲ極メテ居ル場合
ニ方リ、而モ又御承知ノ通リノ現在ノ
状況トシテ、市民ハ其負擔ニ堪エ切レ
ナルヤウナ狀態ニアリマス際ニ方ツテ、
此百十七萬ヲ政府ガ給與シナイト云フ
コトニナリマスト、茲ニ又東京市民ノ
負擔ノ増加ヲ受ケネバナラヌト云フコ
トニナルノデアリマスガ、此負擔ト云
アル、併ナガラ茲ニ財政計畫ヲ樹テ、
概計表ヲ作ル上ニ於テ、ドウモ昭和六
年一度ニ於テ行政財政ノ整理ヲスル積リ
デアルカラト云フノデ之ヲ概計表ニ組
ム譯ニハ行カナイ、財政計畫ト云フモ
ノヲ諸君ニ御示スル譯ニハ行カナイト
云フノデ、連帶支辨金ヲ東京、大阪ニ
於テ百四十萬圓減ズルト云フコトデ大
体ノ見當ヲ付ケタ次第デアリマス、内
務大臣ノ希望シテ居リマス所ハ、來年
持ツテ居ルカト云フコトニ付テ、政府ハ
十分御研究ニ相成ツテ居ルカドウカラ
御伺致シタイト思ヒマス

○次田政府委員 此問題ニ付キマシテ
堪エ得ルカ、又東京市ハ如何ニシテ此
フモノニ市民ハ如何ナル方法ニ依ツテ
トニナルノデアリマスガ、此負擔ト云
アルカラト云フコトニナリマスト、東
京府ニ於テハ所得稅ノ附加稅ノ制限内
ノデアリマス、ソレハドウ云フ稅デ支
辨スルカト云フコトニナリマス、東
京府ニ於テハ所得稅ノ附加稅ノ制限内
ノデアリマス、ソレハドウ云フ稅デ支
辨スルカト云フコトニナリマス、東
京府ニ於テハ所得稅ノソレダケ増課シテ負擔スルト
云フコトニナルノデハナイカト云フ風
雲ノコトニナリマス、
護法實施ノ恆久財源ト致シタイト云フ
ノデアリマス、併ナガラ茲ニ財政計畫
ヲ樹テマス以上、ドウシテモ此行政整
理ガ出來ナカッタ場合ニハドウスルカ
ト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、ド

テハ申上ゲレバ宜イト思ヒマス、昭和
七年度以降ノ救護法ノ財源トシテ、一
部分ハ競馬法改正ニ依ツテ生ズル費用
ヲ以テ之ニ充テ、一部分ハ關稅定率法
中改正ニ依ツテ生ズル收入ヲ以テ之ニ
充テル、ソコデ更ニ百四十萬圓バカリ
リマス、百四十萬圓ハ内務大臣ガ其席
ニ於テ説明致シマシタ通リヲ申上ゲレ
バ、昭和六年度ニ於テ行ハルベキ行政
財政、稅制ノ整理調査會ノ結果ヲ俟ッテ
一口ニ申シマスレバ昭和六年度デ行政
整理ヲシテソレダケノ金ハ出ス積リデ
アル、併ナガラ茲ニ財政計畫ヲ樹テ、
概計表ヲ作ル上ニ於テ、ドウモ昭和六
年一度ニ於テ行政財政ノ整理ヲスル積リ
デアルカラト云フノデ之ヲ概計表ニ組
ム譯ニハ行カナイ、財政計畫ト云フモ
ノヲ諸君ニ御示スル譯ニハ行カナイト
云フノデ、連帶支辨金ヲ東京、大阪ニ
於テ百四十萬圓減ズルト云フコトデ大
体ノ見當ヲ付ケタ次第デアリマス、内
務大臣ノ希望シテ居リマス所ハ、來年
持ツテ居ルカト云フコトニ付テ、政府ハ
十分御研究ニ相成ツテ居ルカドウカラ
御伺致シタイト思ヒマス
○高橋(熊)委員 一宮參與官ガ御出席
ノ行政整理ニ依ツテ百四十萬圓ノ新シ
イ財源ヲ作リ出シテ、ソレヲ以テ此救
護法實施ノ恆久財源ト致シタイト云フ
ノデアリマス、併ナガラ茲ニ財政計畫
ヲ樹テマス以上、ドウシテモ此行政整
理ガ出來ナカッタ場合ニハドウスルカ
ト思ヒマスガ、私共ハ今ヨリ約一時間
バカリ前ニ、次田局長ノ御説明ニ依ツテ
始テ承知ヲ致シタコトデスガ、今回競
馬法ノ改正ニ伴ツテ地方競馬ニ於テモ

著シク觀覽稅ヲ増課サレルト云フ計畫ヲ含ム、殊ニ地方競馬ヨリ增收ニナッタル金額ノ一部分ヲ以テ、地方救護費ニ充ツルト云フ競馬法ノ改正ニ伴フ增收ヲ以テ救護費ノ一部ヲ負擔サセルト云フノト同等ナ趣旨ニ依ツテ、地方デモ同様ナ計畫ヲ行ハレルト云フコトヲ耳ニシテ、非常ニ驚イタノデアリマス、斯ウ云フ計畫ト云フモノハ今回ノ競馬法ノ改正ノ中ニハ含ンデ居ナイト吾々ハ考ヘテ居ツタ、唯競馬法ノ改正ニ依リマシテ從來地方ニ於テ收得致シテ居ツタ所ノ地方稅或ハ寄附金ノ名目ヲ以テ、收入ヲ致シテ居ツタ所ノ六十餘萬圓ト云フモノガ、是ガ國ノ收入ニ肩替リヲスルト云フ、其缺陷ヲ如何ニスルカト云フコトニ限ラレタ問題トノミ吾々ハ考ヘテ居ツタノデアリマス、然ルニ其他ニ尙ホ地方競馬ニ對シテ觀覽稅ヲ從來取ツテ居ツタモノハ之ヲ增課シ、又從來之ヲ賦課セザルモノモ新ニ賦課セシメテ其收入約百萬圓ト云フモノヲ救護費ノ三百萬圓ノ財源ニ之ヲ充テヨウ、斯ウ云フ計畫ガアルト云フコトヲ承ツタノデアリマス、三百萬圓ト云フノハ府縣デ負擔スルモノ千五百萬圓ノ一部ナリト考ヘテ宜シイノデアリマス、併ナガラ今次田局長ノ説明スル所ニ依ルト云フト、國全體ヲ達觀シテ言フノデアルカラ、各府縣ニ於テ之ヲ觀察スル

ト云フト多少ノ不均一ナル状態ガアル
ダラウ、併ナガラソレハ眠ツテ貰ハナケ
レバナラヌト、斯ウ云フヤウナコトデ
大體百萬圓ノ收入ガ舉ルノデアルカ
ラ、之ヲ府縣救護費ノ一部分ニ充テル
ノデアルト云フコトノ御答辯ガアッタ
ノデアリマス、私共ハ之ヲ伺ツテ置クト
共ニ、吾々地方民トシテハ地方ニ於テ
非常ニ過重ナル負擔ヲ受ケルノデア
ル、殊ニ地方ニ於ケル競馬ノ「ファン」
ト云フモノハ、中央大都市ノ競馬「フ
アン」トハ違ツテ多クハ農家デアル、農
家ニ斯ノ如キ過重ナル負擔ヲ新シク課
スルコトハ、競馬法制定ノ趣旨ニハ背
馳スルモノデナケレバナラヌ、五六ノ
大都會ヲ主トシタ計畫ヲ地方競馬ニ當
嵌メルト云フコトハ甚ダ私共ノ迷惑ヲ
致ス所デアリマス、此五六ノ競馬ヨリ
收得スル所ノ寄附金ノ大部分ヲ占メテ
居ルノデアリマス、之ニ關聯スル所ノ
五六ノ府縣ハ之ニ依ツテ救濟サレルカ
モ知レヌガ、併ナガラ一方ニ於テ私ノ
申上ゲテ居ツタノハ、公認競馬デ失ツタ
ル六十餘萬圓ノ財源ト云フモノヲ、地
方競馬ニ依ツテ生ズル所ノ增收、觀覽稅
ドモ、多クハ出來ナイノデアル、是ト
相俟ツテ將來地方デ失フ所ノ六十萬圓
ノ此財源、並ニ新シク賦課サレル所ノ

地方農民ノ負擔ハ將來大キナ問題ニナ
ルト私共ハ考ヘル、是等ニ付テ内務當
局ハ如何ナル對策ガアルカト伺ツタガ、
次田局長ヨリハ懇切ナル御答ガアッタ
ガ、其内容ハ明カデナイ、局長トシテ
ハ是ダケシカ言ヘナイト云フコトヲ吾
吾ハ怨トシテ居リマシテ、結果ニ付テ
ハ將來財政上餘裕ノ生ジタ場合ニ相當
考慮スルト内務大臣ハ言ハレタト云フ
ヤウナコトデアッタ、ソレデ私共ノ考フ
ル所デハ考慮モ努力モ宜シイガ、今マ
デノ六十二萬七千ノ地方收入ヲ吐出し
テ、之ヲ農林省ノ所管ニスル、農林大
臣ノ言葉ヲ藉リテ言ヘバ移管デアル、
移管サレル地方ヨソ本當ニ遺憾デア
ル、現ナマヲ吐出シテシマウ、豫想方
外レタ、當ガ外レタト云フヤウナ問題
トハ違フ、ダカラ豫想トカ考慮トカ、
努力トカ、云フ言葉デ空ニナッタモノハ
充タサレナイ、數字デ以テ充シテ行カ
ナケレバナラヌカラ、其數字ヲ伺ツテ居
ルノデアリマスガ、不幸ニシテ今マデ
同ヒ得ナイノデアリマス、ソレデ今色
色ナ表ナドヲ御示ニナリマシタガ、是
ハ責任アル當局カラ伺ハナケレバナラ
ムト云フノデ、内務大臣ノ御出席ヲ促
シタノデアリマスガ、ソレモ困難デア
ルト言ツテ一宮内務參與官ガ御出席ニ
ナツタノデアリマス、私ハ平素力量手腕
人格ニ信賴シテ居ルノデアリマスガ、

○一宮政府委員 地方競馬ノ觀覽稅ヲ
以テ救護法ノ府縣町村負擔ノ一部ニ充
當スルニ對テハ、只今次田局長ヨリ委
細説明ガアツタ通りデアリマス、救護法
ノ實施ガ時勢ノ要求スル所デアリ、非
常ニ必要ナルモノデアリマス爲ニ、此
財源ヲ見出サナケレバナラヌ、而シテ
之ヲ地方競馬ノ觀覽稅ニ求メタコトニ
付テハ、救護法ヲ實施スルニハ地方ニ
於テ其二分ノ一ハ國庫ヨリ補助ヲ致シ
マスガ、其後ノ四分ノ一ハ府縣、又殘
リノ二分ノ一ハ町村ニ於テ負擔シナケ
レバナラヌノデアリマス、之ヲ若シ競
馬法ノ觀覽稅ニ求メナイ場合ニ於テ
ハ、更ニソレダケノ負擔ヲ町村府縣ノ
人ニ課セナケレバナラヌコトニナル、
其救護法ヲ實施スル時ニ起ル所ノ負擔
ヲ比較的苦痛ノ輕イ所ノ觀覽稅ニ求メ
ルコトハ、却テ地方民ノ負擔ヲ——苦
痛ヲ輕クスル所以デアルト政府ノ方デ
ハ考ヘテ居ルノデアリマス、或縣ニ於
テハ其負擔ガ却テ之ガ爲ニ重クナル、
或縣ニ於テハ之ニ依ツテ大シタ苦痛ヲ
加ヘズニ收入ヲ増加スルコトガ出來ル
コトニ付テハ、只今次田君ガ申シタ通
リデアリマシテ、全體ヲ統一シテ見テ
大體ニ於テ其苦痛ノ程度ニ於テハ觀覽

稅ニ求メルコトガ甚ダシクナイノデア

ルト、當局ニ於テハ考ヘテ居ル次第デアリマス

○高橋(熊)委員 只今一宮參與官ヨリ承ツタ所デハ、此救護法ノ財源ヲ求ムルニハ競馬ノ觀覽稅ニ求メルコトガ一番苦痛ノ程度ガ人民ニハ少イ、大都市附近ニ在ル競馬ヲ指シテ言ハレタノデ、タガ、是ハ一旦國庫ニ引上ゲテ、能力ノ貧弱ナル程度ニ於テ之ヲ配布スル、義務教育費ノ配布見タイニヤルナラバ

又問題ハ自ラ異ナルガ、是ハ各地方デ取ツタモノハ其地方限リデヤル、其地方限リデアルカラ餘計收入ガアツカト言ツテ全國的ニ見レバ、百萬圓アツテモ其中ノ七、八十萬圓ヲ二、三縣デ取ツテシマウ、後ノ三十萬圓ヲ何十縣デ負擔スルコトニナルデアリマセウ、サウスルト或縣ハ非常ニ多額ノ收入ヲ得テ居ルト、或縣ハ殆ド收入ノマルキリ無イ所モアリマセウシ、僅ノ收入シカ得ラレナイト云フコトニ相成ルト、斯ウ云フヤウナ所モ出テ參ルト吾々ハ考ヘマス、ソレデスカラ此地方競馬ニ依ル收入ヲ以テ地方ノ救護費ニ充テルト云フ計畫ハ甚ダ不公平デアリ、又ソレニ依テ地方競馬ノ發達ヲ阻礙スルコトガ多大デナイカ、斯様ニ考ヘテ居ルガ故ニ、

私共ハ其趣旨ノ質問ヲシテ居ル

○一宮政府委員 只今ノ高橋君ノ御質

問ハ成程御尤ト思フノデアリマス、仰

セノ如ク之ヲ直チニ地方救護費ニ充テルト致シマスト、或所ニ付テハ非常ニ苦痛ニ感ジ、或所ニ於テハサウ感ジナサニコトハ先程同僚カラモ述べマシタガ、是ハ一旦國庫ニ引上ゲテ、能力思フノデアリマス、之ニ付キマシテハキマシテハ、相當考慮ノ餘地ガアルト

スルト申シマスカ、利用スルコトニ付思フノデアリマセヌガ、昭和七年度六年度ニ於テハ觀覽稅ノ形式ニ依ツテ

ヒマス、此救護費ヲ成ベク適當ニ分配スルト申シマスカ、利用スルコトニ付思フノデアリマセヌガ、昭和七年度六年度ニ於テハ觀覽稅ノ形式ニ依ツテ

ヒマス、此救護費ヲ成ベク適當ニ分配スルト申シマスカ、利用スルコトニ付思フノデアリマセヌガ、昭和七年度六年度ニ於テハ觀覽稅ノ形式ニ依ツテ

ヒマス、此救護費ヲ成ベク適當ニ分配スルト申シマスカ、利用スルコトニ付思フノデアリマセヌガ、昭和七年度六年度ニ於テハ觀覽稅ノ形式ニ依ツテ

ヒマス、此救護費ヲ成ベク適當ニ分配スルト申シマスカ、利用スルコトニ付思フノデアリマセヌガ、昭和七年度六年度ニ於テハ觀覽稅ノ形式ニ依ツテ

ヒマス、此救護費ヲ成ベク適當ニ分配スルト申シマスカ、利用スルコトニ付思フノデアリマセヌガ、昭和七年度六年度ニ於テハ觀覽稅ノ形式ニ依ツテ

ヒマス、此救護費ヲ成ベク適當ニ分配スルト申シマスカ、利用スルコトニ付思フノデアリマセヌガ、昭和七年度六年度ニ於テハ觀覽稅ノ形式ニ依ツテ

ヒマス、此救護費ヲ成ベク適當ニ分配スルト申シマスカ、利用スルコトニ付思フノデアリマセヌガ、昭和七年度六年度ニ於テハ觀覽稅ノ形式ニ依ツテ

ヒマス、此救護費ヲ成ベク適當ニ分配スルト申シマスカ、利用スルコトニ付思フノデアリマセヌガ、昭和七年度六年度ニ於テハ觀覽稅ノ形式ニ依ツテ

ヒマス、此救護費ヲ成ベク適當ニ分配スルト申シマスカ、利用スルコトニ付思フノデアリマセヌガ、昭和七年度六年度ニ於テハ觀覽稅ノ形式ニ依ツテ

ス、今御話ノヤウナ方法ヲ採ルニハ何

云フ關係ガアルト云フコトヲ成程承知

モノハ今日ハ非常ニ慘メナ目ニ遭ツテ

セ会期モ切迫致シテ居リマスカラ、昭和

以降ハ、内務省ト農林省ト打合セテ居

スル所ニ依リマスト、觀覽稅ヲ止メテ納

スルト申シマスカ、利用スルコトニ付思フノ形式ニ致シタイト思ツテ居リマ

ス、ソレニハ何レ地方競馬法トデモ言

スル際ニ、御話ノ點モ併セテ十分考慮

致シタイト考ヘテ居リマス

○高橋(熊)委員 只今ノ御答辯ニ付テ

最後ノ所ヲ聽キ落シタノデアリマス

ガ、救護法ノ財源トシテ地方ノ競馬ノ

收入ヲ以テ充テル、其充テ得ナイ所ノ

府縣ハドウ云フコトニスルト云フ御話

デアリマスカ

○次田政府委員 只今一宮參與官カラ御答致シマシタコトヲモウ一度申上げ

方チニモ進メナイト云フ工合デ、サウ

ガアルト云フ御意見ハ洵ニ御尤ノコト

ト考ヘマス、昭和六年度ニ於キマシテ

居ルト云フ、此規則ハ何レ勅令カ何カ

ゾレノ指導獎勵費ト云フヤウナモノヲ

地方競馬ニ支出ニナツテ居ルト云フコ

トデ、私ハ農林省所管ダト思ツテ居タ

ノデアリマスガ、是ハ規則デ以テ出テ

居ルト云フ、此規則ハ何レ勅令カ何カ

云フアルト思フノデスガ、一體所管ハ農

居ルト云フ所ヲ見ルト、農林省ト云フモ

ノハ地方競馬ヲ非常ニ残酷ニ取扱ッテ

リマス、内務省ハ今度ハ地方競馬ヲ喰

物ニシテ、ソレカラ稅金ヲ取立テ、

今迄ヨリ餘計ナ負擔ヲナサシメテ、「

アン」ニスルカ地方競馬ノ經營者ニ課

ケルカト云フコトハ別問題デアルガ、

ハ救護ノ費用モ少ナウゴザイマスシ、

觀覽稅デ充ツルノ外ハナイノデアリマ

ス、ソレデスカラ此地方競馬ニ依ル收

何ニシテモ地方競馬ニ重ク負擔ヲ背負ハセテ、ソレニ依ッテ内務省所管ノ事業ヲヤラウト云フノデスカラ、此事ハ今ノ地方競馬改正ト云フ本來ノコトヨリモ此派生的ノ地方競馬冷遇、虐待ト云フコトハ聲高ク叫バレルダラウト思フ、世間ニコンナコトガ分ラナイカラ今日世間ガ黙ッテル、コンナコトガ公々然ト明ルミニ——世間ニ出タナラバ、地方民ハ黙ッテ居ナイダラウト思フ、コンナ亂暴ナコトヲサレテ、地方民ヲ救フノ、我國ノ產馬ヲ改良スルノ、何デソンナコトガ言ヘルカト思フ、農林大臣ハ之ニ對シテ一體ドンナ考ヲ持ッテ居ルノデスカ

○町田國務大臣 今日マデ地方稅關係ノコトガ御分リデナカッタ云フコトデアリマスガ、先日私ガ第一ニ之ヲ提案致シマシタ時ニ、從來地方ニ行ッテ居ニ參ル、其結果地方稅デ如何ニ之ヲ取扱フカト云フコトハ、内務當局ニ御尋下サッタラ明カニナラウト云フコトハ、半分位ヲ分ツテ、ソレカラ又何カノ委員會ノ時ニ、此度二百萬圓出ルモノ——馬ノ稼ギニ依ッテ得タ金ハ馬事振興等ニ用キルガ當然デアルニ拘ラズ、半分位ヲ分ツテ馬ノ稼ギニ依ッテ人間ヲ救フト云フ方ニ用キルコトハ餘リ多過ギルデハナイ

カト云フ御尋モアッタノデス、其時ニ私ハ言ッタノデス、是ハ形ハサウ見エル今ノ地方稅ノ形トシテ居ッタ六十萬圓ハ、移管ト云フ言葉ハ私使ッタカドウカ知リマセヌガ、兎ニ角中央ニ取ルノダ、此度ノ改正ニ依ッテ競馬ノ收入ヲ新ニ救護法ニ持ツテ行ク分量ヲ四十萬圓ト御覽下サレバ宜シイ、而シテ地方ノ財政ガ如何ニナルカト云フコトハ、内務大臣ニ御尋下サイト云フコトヲ私ハ

○高橋(熊)委員 農林大臣ノ此點ニ付

マッタ問題デハアリマセヌ、ソコデ地方競馬ノ話ハ或ハ一府縣ニ何箇所起スルカ、アノ競馬ノ取締リハイカヌカテ之ヲ止ストカ云フヤウナ取締ノ方面ノコトガ御分リデナカッタ云フコトデアリマスガ、先日私ガ第一ニ之ヲ提案致シマシタ時ニ、從來地方ニ行ッテ居ニ參ル、其結果地方稅デ如何ニ之ヲ取扱フカト云フコトハ、内務當局ニ御尋下サッタラ明カニナラウト云フコトハ、半分位ヲ分ツテ云フ爲ニ、高橋君ノヤウニ御心配ノ問題ノアルコトハ御尤ト思ヒマス、併シ是ノアルコトハアリマセヌ、雜種稅トナッテノ申スマデモナク内務省デ命令シテ居下サッタラ明カニナラウト云フコトハ、ハ申スマデモナク内務省デ命令シテ居ニナリ、地方稅デアル以上ハ縣會デ之ヲ否決スルコトハ馬產ヲ獎勵シヤウト云フナラバ當然ナコトデアルト思フ、サ

○高橋(熊)委員 サウスルト云フト、救護法ト云フ立派ナ事業デアルカラ、

○高橋(熊)委員 サウスルト云フト、

ニ提案サレルト云フ救護法ハ、國民ガ非常ニ要求シテ居ル、其方面ニ當ツテ居ル者ハ身命ヲ賭シテモ是ハ行ツテ貴ハナケレバナラヌト云フ固イ決心マデ致シテ居ル、上奏マデ致スト云フ決心ヲ以テ臨ンデ居ルモノデアリマスカラシテ、是ハ立派ダカラ大概ハ我慢シテ贊成スルダラウト、斯ウ高ヲ括ツテ議會ニ出サレタト同ジヤウナ筆法デアル、地方ニ持ツテ行ツテ立派ナモノダ、オ前達之ニ贊成シナカツタナラバ、今困ツテ居ル人間ハ死ンデシマフゾト、知事ヲ脅カシテ之ヲ通サウナドト云フヤウナコトヲサレルト云フコトハ何事ダト、吾吾ハ謂ハナケレバナラヌ、サウ云フ無理ナコトデ救護法ガ立派ダカラト云ツテ、馬事獎勵ニ水ヲ掛ケルヤウナ、馬産ニ支障ヲ來スヤウナコトヲ此方面ニサシテハイケマセヌ、救護法ト云フモノデ救濟サレル所ノ人々ト、馬事ノ振興トハ違フノデアリマス、國家ト致シタラ兩方トモ同じ程度ニ考ヘテ、軍事上ニモ陸軍大臣ハ國務大臣トシテ同ジニ考ヘラレルデセウ、併ナガラ一方ハ國防產業ノ基礎ヲ成ス所ノ基礎產業ニ支障ヲ來スモノハ、幾ラ立派ナ事業デアルカラト云ツテ犠牲ニ供シテ之ヲヤルト云フヤウナ、馬鹿ナ府縣會議員ハアルマイト思ツテ居リマス

ニト云フコトヲ、如何ニモ國民ガ要望シテ居ルカラ、強要スルト云フヤウナ態度デアルノハト言ハレルガ、ソレハ贊成スルノガ當リ前ダト云フ意味デ申シタノデハアリマセヌ、此點ハ誤解ノナイヤウニ釋明ヲ致シテ置キマス、馬事振興ト救護法トハ共ニ國家ノ爲ニ必要デアルト云フコトニ付キマシテハ、高橋君ノ申サレル通リデアリマシテ、何レヲ重シトシ、何レヲ輕シトスルコトハ出來ナイノデアリマス、唯救護法ヲ實施致シマスルガ爲ニ、財政計畫ヲ立テル上ニ恒久的ノ計畫ヲ立テナケレバナラヌ、勿論現内閣ニ於キマシテハ明年度ニ於テ行政財政ノ根本的改正ヲ企圖致シテ居ルノデアリマスカラシテ、其結果ニ依ツテ相當ナ財源ヲ見出シ得ルデアラウト云フコトヲ吾々ハ確信シテ居ルノデアリマス、併シ他日ノ問題ヲ豫期シテ計畫ヲ立テルコトハ出來マセヌカラシテ、兎ニ角昭和七年度以降ニ於キマシテハ行政財政ノ整理ニ依リマシテ、救護法ノ財源ハ適當ニ求メルデアラウ、唯今年度ニ之ヲ實施スルガ爲ニハ、財政計畫ノ上ニ於テモ恒久的ナ財源ヲ持ツテ居ラヌガ故ニ、サウシテ計畫ヲ立テナケレバナラヌト云フ必

改正ニ依ル財源ノ一部ヲ救護法ニ使フト云フコトニ致シタノデアリマス、ソレデ本年度ニ於テ要スル財源ハ、競馬法ノ改正ニ依ツテ得タル財源ヲ以テ支拂フ、是ハ只今農林大臣ガ申シタヤウニ不確實ナ程度ノモノデハナイノデアラウト思ヒマス、地方ニ於ケル所ノ財源ハ、若シ府縣會ニ於テ之ニ協贊ヲシマセヌ場合ニ於テハ、是ハ他ニ財源ヲ負擔シナケレバナラスト云フ結果ニナルノデアリマシテ、ソレデ地方局長カラモ説明申上ゲマシタ如ク、若シ縣會ニ於テ其協贊ヲ經ラレザル場合ニ於テハ、已ムヲ得ズ他ニ財源ヲ求タルノ外ハナイガ、此方法ハ比較的苦難ノ少イ所ノ負擔方法デアルカラシテ、地方ニ於テモ此方法ニ協贊スルデアラウト云フコトヲ吾々ハ信ジテ居ルノデアッテ、必ズシモ是ガ不確實デアルト云フコトハ判定致シ難イト思フノデアリマス

相トガ〇ヲセヘルハ難之ラ方央イ　ス上ソ〇ニテカラ若〇マフ幾ノ

デアリマス、ソレデアルカラ私共ハ
ラ財源ガ得ラレルノデアルカト云
、其統計ヲ先程カラ求メテ居ルガ、
ダ出来マセヌカ

次田政府委員 各府縣ニ於キマシテ
右シ觀覽稅ヲ地方競馬ニ取ルトスルナ
バ、ドレダケノ收入ガアルデアラウ
ト云フ數字ハアリマス、今手許ニ持ツ
居リマセヌカラ、後刻差上ゲルコト
致シマス

高橋(熊)委員 ソレデハ成ベク速ニ
レヲ頂戴スルコトニシテ、拜見シタ
ニデ簡単ナル質問ヲ致シタイト思ヒマ
ソレカラ今農林大臣ニ御伺ヲ致シタ
ノデアリマスガ、一體地方競馬ト中
シヌト考ヘテ居リマスガ、農林大臣ハ
競馬ヲ比較致シマスルニ、吾々ハ地
之ヲ指導誘掖シ、此地方競馬ノ經營困
難ナルモノハ澤山アル、繁昌スルモノ
其中ノ一部分ニ過ギヌト云フノデア
ガ、之ニ付テ將來モウ一層手ヲ御加
ニナル御考ガアルカ、或ハ成行ニ任
ルト云フヤウナ御考デアルカ、ソレ
伺ヒタイ

町田國務大臣 金額ヲ忘レマシタ
、從來モ左様デアリマスガ、農林省
シテハ地方競馬ニ對シテ指導ノ爲ニ
當ナ経費ヲ出シテ居リマス、獎勵ノ

ケニシテ居リマスカラ、今度ハ如何ナル處デモ、如何ナル方法デモ、時ニ依フ

達觀致シマスルト、全國ニ對シテ此十ニ依ツテ普及セシムルト云フコトニ

話ノ通り此思想ヲ普及セシムル爲ニ、
或ハ場所ヲ増加スル考ガ其時ニハ考

ナツテハ、ヤハリ弊害ガ起リマス、成ベ
ク二日間位ニシテ、サウシテ八日間キ

タナラ競馬場ヲ許スト云フコトガ考慮ノ中ニ入ツテ居リマスカ

付キマシテハ、今アル十一ノ競馬ガ全
國的ニ場所ノ宜シキヲ得テ居ルカ否カ

○本田委員 得ラレルコト、斯様ニ思ツテ居リマス
私ノ質問ニ對シテ淘ニ味

ルナラバ、四度ニ施行スルコトニ致シ
マシタナラバ大變宜カラウト思ヒマ

○町田國務大臣 私ハ先般ソレニ對シ
テ御答シタ筈デアリマス、收入ノ増加
ト云フコトモ、此法案ヲ出シマシタ一
ノ理由デゴザイマス、併シ收入ヲ如何
ニシテ増加スルカト云フト、馬事思想

ト云フコトニ付キマシテハ、相當問題
ガアルト思ヒマス、併シ將來之ヲ普及
セシムル上ニ於テ、數ヲ増ス必要ガア
ルト云フ時代モ或ハ參ラウカト思ヒマ
ス、併シ私共ハ出來ルナラバ、先ヅ増

宜ヲ得タモノト思ツテ満足シテ居リニ
ス、ソレデ今日質問ヲ打切ラレルサウ
デアリマスカラ、急イデヤリマス、士
日以内ヲ八日以内ニ爲サルト云フ御政
正ニ對シテハ私ハ全ク當ヲ得ナイモノ

ス、ソヨデ新潟デアルトカ、或ハ九州ノ小倉デアルトカ、函館デアルトカ云フヤウナ處ハ、若シ二日續クモ或ハ三日、四日ヅ、行フトモノレ程ノ弊害ハナイト思フガ、帝都附近ノ生存競争

ノ普及ニ依シテ多クノ人ガ之ニ趣味ヲ持チ、隨テ體格ノ發達トカ、或ハ斯様ナ馬ガ良イトカ惡イトカ鑑定シテ行クト云フヤウナ色々ナ利益ガアリマセウ、此競馬ニ依フテ得ル效果ハ、私ヨリ専門家ガ申シマセウケレドモ、大體

スト云フコトノ代ニ、今アル十一ノ公認競馬ヲ、農林省ガ權力ヲ以テ之ヲ移
スト云フコトハ致シマセヌガ、從來ト雖モアノ地方ニ賣ラウカ、此地方デ買
ハウカト云フ問題ノアツタコトモ御承知ノ通リデアリマス、又經營ノ旨ク行フ

ダト云フコトヲ斷言シテ置キマス、且ニハ私ノ意見ニ御同意ガ願ヘレバ幸アリマス、此八日以内ニ爲サルト云ニ事柄ハ攸入ノ目的デモゴザイマセウシ、又是ハ素人考デ致シマスト、六月以内ヲ八日以内ト爲サツタナラバ、大變

ノ非常ニ激シイ處テ四日間モ競馬ガ續
クト云フコトハ、思想上好クナイト田
フ、ソコデ施行上ニ於テ此近クノ地方
ハ目曜土曜位ニシテ、サウシテ八日間
オヤリニナルノガ可ナリト思ヒマス
ガ、此點ニ付テ御答辯ヲ願ヒマス

ニ於テ此改正ノ中ニハ、收入ヲ増スコトガ理由ノ一ツニ相成ツテ居ルコトハ明カデアリマス、同時ニ何故ニ收入ヲ増スカト云フト馬事思想ノ普及ニ伴フテ收入ガ増スノデアルカラ、ソレデ宜

テ居ラヌ競馬ノアルコトモ承知致シテ
居リマスガ、出來ルコトナラバ左様ナ
點カラ考ヘマシテ、政府ノ權力ニ依テ
テ之ヲ無理ニ致サズニ、何等カノ方法
ニ依ツテ今アル十一ノ競馬ヲ全國ニ普

宜カラウト云フヤウナ御見解ガアル
思ヒマス、是ハ全ク誤ツタコトデアル
ソコデ八日デモ宜シイガ、場所ニ依ツ
ハ、日曜、土曜ト二日ヅ、位施行ス
コトニ此法律ヲ應用サルコトガ出來

○町田國務大臣 御尋ノ六日以内ヲ八
日以内ニシタコトニ付テハ十分議論ガ
アリマス、本田君ガ只今ノ御質問ノ如
キコトヲ外ノ方面カラモ承リマシタ、
併シ私ノ聞イテ居リマス所デハ六日デ

シカラウト思ヒマス、ソレカラ今後場所ヲ増スカト云フコトハ一ツノ問題デアリマス、唯公認競馬ハ地方競馬ト違テ、全國ニ馬事思想ヲ普及サセル意味ニ於テ、今アル十一箇所ノ公認競馬ノ分布ノ形ガ、全國ニ馬事思想ヲ普及スルニ適當ナル地位ニアルカ否ヤニ付テハ相當問題ガアリマス、從來ノ關係或ハ先願ト云フヤウナコトニ依ッテ、十二ノ公認競馬ガ許サレテアリマスルガ、

及セシムル上ニ適當ナル處ニ變ヘルコトガ出來レバ結構、先ヅ斯ウ考ヘテ居リマス、ソレガ參リマセヌ時ニハ、更ニ之ヲ普及セシムル點ニ於テ或ハ二箇所、三箇所此邊ニアレバ適當ダト思ハレル場所モアルコトハ私モ考ヘテ居リマス、此邊ハ無クトモ宜イト考ヘラレル處モアリマスカラ、ソレハ先ヅ國家ノ力デナク、此分布ヲ平均スルヤウニ出来レバ結構、ソレガ出來ヌ時ニハ御

トニ御同意ヲ願ヒタイ、ドウ云フ譯ニ
サウ云フコトヲ私ガ言フカト云フト、
ヤハリ馬事思想ヲ高尚ニ振興サセタノ
ト云フノガ私ノ目的デアリマス、八日
間ニヤルコトニナリマスレバ、競馬ヲ
ヤルコトガ遂ニ商賣ノヤウニナッテン
マフ、一週ノ中四日間ヤルト云フコト
ニナリマスト、競馬ガ非常ニ續イテ、

ハ足ラヌカラ八日ニシテ吳レト云フ希
望ノアル處モ二三箇所承ツテ居リマス、
ソコデ是ハ必ズシモ八日ヲヤラセルト
云フ意味デナク、八日以内トシテ、六
日デモ宜シイシ、五日デモ宜シイト云
フ意味ニ致シマシテ、農林省ノ此係カラ
ラ此問題ニ對シテ聽キマス所デハ特殊
競馬等ノ爲ニ從來無理ヲシテ居ツタ、
或ハ之ヲ八日ニシタ方ガ宜カラウト云
フ意味カラ、必ズシモ八日ヲヤルト云

フ意味デナク、八日以内ト致シテ居リ
從來日曜土曜ニ限ラズ續イテヤッテ居
ル、是ハ如何ナモノデアラウカ、是ハ
ヤハリ一種ノ娛樂デアリマスカラ、或
ハ春ノ競馬モ日曜土曜トシテ行ケバ四
回出來ルト云フヤウナ意味ニシテヤル
ガ宜カラウト云フ意味モアリマシタ、
唯馬ヲ集メルトカ、一時ニ雙方デヤッテ
居ルト云フヤウナ時ニサウ離シテヤル
ト、準備上ドウデアラウト云フヤウナ
話モ聞キマシタガ、是ハ自由デアリマ
ス、ソコデ農林省デモ日曜土曜トシテ
ヤラウト云フ考ノアル所ニ、只今アナ
タノ御話ヲ聽イテ、一層ソレガ宜カラ
ウト云フコトノ考ヲ強メマシタ、是ハ
農林省ノ考デ自由ニ出來マスカラ、私
モ御意見ニ從ツテ其方ニ進ムコトニ致
シタイト思ツテ居リマス

相當ニアルモノト私ハ信ジマスルが故ニ、ドウズサウ云フコトニ御決定アラ
居リマスガ、是ハ私ハ餘程能ク御考ヘ
シコトヲ願ツテ置キマス、ソレカラ次ニ
伺ヒタイノハ、單勝投票券ト、複勝投
票券ト各一枚ヅ、ト云フコトニナナテ
居リマスガ、是ハ私ハ餘程能ク御考ヘ
ニナツタコト、思フノデアリマスガ、併
シ二枚買フト云フコトニナリマスト、
四十圓ニナルノデアリマス、二枚買ハ
レルト云フコトデアルナラバ、恐ラク
好キナ人ハ二枚買フモノト思ヒマス、
ソコデ皆様モ御承知ノ如ク、競馬場ニ
ハ呑屋ト云フモノガ非常ニ多いノデア
リマシテ、此呑屋カラ風紀ガ紊レテ居
ル情勢ガ非常ニ多いノデアリマス、故
ニ此呑屋ノ情勢ハドウカト申シマス
ト、多クハ五圓、十圓ト云フ小サイ口
ガ多數呑屋ノ手ニ掛ル、ソレカラ又三
百圓、五百圓ト云フ大キナ口ガ呑屋ニ
掛ツテ來ルノデアリマス、多ク
掛ル人ト云フモノハ何處ノ誰ト云フコ
トガ私共ガ行ツテ見テモ分ルヤウナ情
勢ニキマツテ居ルノデアリマス、多ク
ハ小サイモノガ餘計掛ルノデアリマ
ス、又小サイ人ガ是非トモ此呑屋ノ手
ニ法律ヲ犯シテ掛ルコトモ、實ハ買ヒ
タイケレドモ、二十圓以下ノ券ガナイ
カラ、已ムヲ得ズ呑屋ニ頼ムト、偶
或者ガ四人寄ツテ、片足ヅ、ト申シテ
居リマスガ、此片足ヅ、ノ五圓ヅ、買

逃ゲタト云フノデ、ドノ競馬場ニ於テ
モ血眼ニナツテ喧嘩ヲスルヤウナコト
ガ十回ヤ十五回ハ必ズアルノデアリマ
ス、斯ウ云フヤウナコトガ詰リ競馬場
ノ風紀ノ惡クナル原因ニナルノデアリ
マスカラ、是モ此機會ニ於テ御變ヘニ
ナルナラバ、當局ハ十分斯ウ云フ點ニ
御留意ニナツテ、五圓券四枚續キト云
フコトヲ是非斷行シテ載キタイ、是ハ
何處へ出テモ、決シテ是ガ爲ニ風教ニ
害ガアルトカ、違法ニナルトカ云フヤ
ウナコトハナイト思フ、何故ナラバ二
十圓券ヲ許シテ居ルノデアリマスカラ
、二十圓券ノ中ニ切目ヲ入レテ置キ
マシテ、サウシテ五圓券ヅ、分ケテ買
フコトガ出來ルコトニナル、ソコデ四
枚買ツテ一枚ダケ御前ニヤラウ、斯ウ
云フコトニシテ五圓券ヲ設ケテ置イタ
ナラバ、非常ニ便利デアル、又「ファ
ン」ガ非常ニ樂ニ買ヘル、無理ヲシナ
イ、或ハ二十圓買ハヌデ五圓デ問ニ合
スト云フヤウナコトモ出來マス、又十
圓デ問ニ合スコトモ出來ルシ、制度ノ
上ニ於テモ、利益ノ上ニ於テモドノ點
カラ見テモ今日ノ情勢ニハ宜イノデア
リマス、此點ヲ一ツ十分ニ御考慮ヲ願ツ
テ、是非是ハ五圓券四枚續キガ斷行出
來ルヤウニ御決定ガ出來ルヤ否ヤト云
フコトヲ伺フノデアリマス

○町田國務大臣　只今ノ本田君ノ御意
見ハ相當競馬ニ關係アル有力ナ方々カラモ、本田君ノ御考ト似タヤウナ考ヲ
相當承リマシタ、而シテ大體ニ於テ一枚ノ馬券ヲ四枚ニ分割シタガ爲ニ風教
ヲ案ストカ、若クハ射幸心ト申シマスカ、富籤類似ノコトニナツテ、風教ニ非
常ナ害ヲ及ボスデアラウトハ考ヘテ居リマセヌ、是ハ相當研究シテ見マシタ
ガ、一枚ヲ四枚ニ分割シテ五圓券ガ出来テモ宜シイ、其代リ賞金割戻金モ二
十圓券ノ四分ノ一ノ五十圓ニ止マリマス、デアルカラ五圓デ以テ數千圓ヲ儲
ケルコトニナリマスレバ、非常ニ風教ヲ害ニ害ガアリマスガ、五圓券ナラバ五十
圓ニ止マリマスカラ、非常ニ風教ヲ害スルトカ、射幸心ヲ唆ルト云フヤウナ
コトハナイト思ヒマスガ、遺憾ナガラ斯様ナ法律ハ其當時ノ社會ノ人ガ十分
ニ諒解スルノデナケレバ、此法律ノ實現ガ面倒デアルコトハ御承知ノ通リデ
アリマス、ソレハ遺憾ナガラ競馬ニ對スル知識ガ足ラヌ爲ニ一般人ガ、二十分
圓券ヲ五圓券ニスルト、非常ニ買好クナツテ、下女デモ書生デモ子供デモ、ズ
云フコトニナルト大變デアリマスカラ、私ハ遺憾ナガラマダ少シ時期ガ早
いと思ヒマス、早晚左様ナ時期ガ參ル

トハ考ヘテ居リママスガ、今直ニ御希望ノヤウニ致スコトハ、此法律ノ改正ヲ行フ上ニ、少カラザル支障ガアルヤトシテ、其處ニ進ミタイ、實際ノ事情ハ斯ウ云フ次第アリマスカラ、御諒解ヲ得タイト思ヒマス

○本田委員 是ハ農林大臣ノ御考ガ違ツテ居ル、二十圓券ヲ四ツニ分割シテ五圓宛買ヘルヤウニスルコトハ、私ハ何等社會ニ對シテ、弊害ガナイト云フコトヲ、斷言シテ憚カラヌノデアリマス、此點ハ農林大臣自ラ御斷行ニナルコトガ、農林大臣トシテ正シイコトニナリハセヌカト思フ、何故カト申シマスト、此問題ハ百人ガ百人、千人ガ千人競馬場ニ出入スル者ハ、誰一人此點ニ對シテ反對スル者ハナイノデアリマス、又社會ノ識者ニ聽イテ見テモ二十圓券ハ買ツテモ宜イガ、十圓券ハイカヌト云フ筈ハナイ、二十圓マデハ許サウト云フコトニナツタニ付テハ、社會デモ餘程考ヘテヤツタコトデアリマス、私茲ニ一寸申上ゲテ置キマスガ、最初二十圓券ニ致シマシタ時ニハ、二十圓券ニシタナラバ貧乏人ガ買ハナイダラウト云フヤウナ意味デ二十圓券ニシタノデアリマス、所ガ今日デハサウデハナイ、時代ガ變ツテ居ル、モウ既ニ競馬ノ

知識ト云フモノモ相當普及サレテ居ル、又序ニ申上ゲテ置クガ、競馬法ヲ設ケタ理由ハ何デアルカト云フト、單ニ競馬ヲ行フダケナラバ、法律ハ設ケヌデモ宜シイ、ケレドモ此馬券ヲ賣ルコトニ付テ、初メテ競馬法ノ必要ガ生ジテ來ルノデアル、此馬券ヲ賣ルト云フコトニ付テ、原則トシテ競馬法ガ出来タノデアルカラ、此競馬法ヲ改正スル時ハ少クトモ俱樂部ノ内容モ知ラナケレバナラヌ、又馬種ノ内容モ知ラナケレバナラヌ、騎手ノ内容ヲ知ラナケレバナラヌ、「ファン」ノ内容モ知ラナケレバナラヌ、ソレ等ヲ能ク知ツテ競馬法ノ改正ヲシナケレバナラヌ、一體二十圓券ヲ四ツ割ニスルコトヲ私ガ主張スルノハドウ云フ譯カト云フト、今日ノ制度ニ於テハ十圓券デモ五圓券デモ默ツテ賣ルコトガ出來ルガ、一人五十圓券一枚デハ、政府ニ於テモ收入ノ確定ガ付カナイ、故ニ二十圓券ト云フトデアルガ、ドウシテモ二十圓券ニシナケレバナラヌト云フ、コトデアルナラバ、之ニ二枚ト云フ制限ガアル以上ハ之ヲ四ツ割ニシタラ宜イ、サウスレバシ、サウシテ其五圓券ヲ拂出ス所ハ別ニスレバ何等ノ弊害ナクテ非常ニ便利ナ方法デアツテ、「ファン」モ宜ケレバ

政府モ宜シ、又俱樂部モ宜イヤウニナ
ルト思フ、此處デ「ファン」ノ點ニ付
テ一言論ジテ置カナケレバナラヌノ
ハ、二十圓券デアルト、十圓シカ金ノ
ナイ時ニハ十圓借リテモ二十圓券ヲ買
フト云フ無理ガ出來テ來ルガ、若シ五
圓券、十圓券デアルナラバ五圓デモ
圆デモ自由意思ニ依ツテ買フコトガ出
來ルカラ、其點ハ一ツ農林大臣大イニ
此競馬法ニ付テ御研究ニナツテ、競馬ノ
一進歩トシテ御英斷ナサルコトノ御意
思ハナイカ、ドウゾ此點ニ付テ御英斷
アラントヲ希望致シマス

處マデ持ツテ行キタイト思ヒマスガ、法ノ解釋ハ中々困難デアルト司法省ノ方デモ言ウテ居ルノデアリマス、ソレガ爲ニ實行シナカツタト云フ意味デハアリマセヌガ、今ノ所デハ二十圓券一枚賣ルト云フ形ヲ、之ヲ四分シテ、其四分シタモノガ各獨立シタ札トシテ働くコトニ對シテ、司法省ノ法律上ノ解釋コトニ運用上ガマダ一致點ヲ見出シ兼ネテ居リマス、故ニ甚ダ相濟ミマセヌガ、此委員會ニ於テ左様ナ希望ガアルト云フコトヲ御發表ニナッテモ當然ノ事デハアリマセウガ、先ヅ暫ク此法律ノ改正ヲ御認メ下サツテ、漸々逐ウテ本田君子御話ノヤウニ進ムコトハ、實際問題トシテ左様ニ取扱ツテ見タイ希望ヲ持ツテ居リマス、勿論私ガ本田君ニ御贊成スルコトハ之ヲ四枚ニ分ツテ五圓トシテ、五圓券一ツガ獨立ニ働くコトスレバ昨今弊害ノ多イ呑屋ヲ征伐スルト言ヒマスカ、呑屋ノ弊害ガ之ニ依ツテ矯正サレルコトガ頗ル多イト思ヒマス、又假ニ弊害ガアルトシマシテモ、呑屋ガ跋扈スル弊害ト比較シテドチラガ多イガ、此四枚ニ分ツテ五圓ニシタガ爲ニカト云フコトニ付キマシテハ、人ニ依ツテ見方ガ違フヤウデアリマスガ、其點モ考ヘナケレバナリマセヌ、併シ一面ニ於テハ此度内務當局、司法當局モ從

來競馬ノ正當ナル發達ニ非常ナ妨害ヲシテ居ル眷屋ノ行動ニ對シテハ、此度ハ刑罰ヲ重クスル意味ヲ以テ固ク之ヲ禁ズルト云フコトガヤツテアリマスカラ、ソレニ依ツテ眷屋ノ弊害ハ相當ニ矯正セラレルヤウニ想ヒマス、是ハ私ハ是非御願シマス、高橋君ノ御意見ハ恐ラクハ今後數年ノ中ニ實現シ得ラレルヤウニ、世ノ中ガ左様ナコトヲバ誤解セヌ時代ガ參ツタ時ハ、即チ改正ノ時デアリマスカラ、希クハ斯様ナ御意見ハ誤ラヌマデモ左様ナ不安心ナモノデナイト云フコトヲ御互ニ世ノ中ニ其考ヲ吹込ンデ、然ル後ニ法律ノ改正ヲ致スコトガ宜クハナイカ、斯ウ私ハ實際問題カラ左様ニ考ヘテ居リマス

モ競馬法ニ於テ學生トカ或ハ生徒デア
ルトカ、未成年者ト云フ者ニハ發賣ヲ
禁止シテ居ル、ソレデアルカラ今日ハ
サウ云フ弊害ヲ及ボサナイ、之ヲ嚴重
ニ取繙リ得ナイト云フノハ、行政上ノ
寛嚴宜シキヲ得ヌト云フコトデアリマ
シテ、ソレハ別問題デアリマスカラ、
其點ハ大臣ノ御理由ノ中カラ取除ケテ
戴カナケレバナラヌ、サウスルト司法
當局ノ解釋如何ト云フ點ニノミ此問題
ガ局限セラレルノデハナイカト、斯ウ
云フ風ニ考ヘマス

然ル後ニ其處マデ行キタイト云フコト
デ當局デモ相當考ヘタノデアリマス、
加フルニ法律ノ解釋カラ言ヘバ左様ナ
コトガ餘程困難ダト云フ意見モアツテ、
ヲ附加ヘタ原因ノ一つシテ申シタノ
デアリマスカラ、本田サンモドウゾ其
邊ハ、前ニ私ノ申シヤウガ少シ足ラナ
カッタカ知レマセヌガ、左様ニ御諒承ヲ
願ヒマス

コハ少クトモ農林省ハ此法律ヲ以テ競馬ノ思想ヲ御普及ニナルナラバ、此點ニ付テ御留意ニナラナケレバナラヌノデハナイカ、又司法大臣ガ二十圓マツヅ割ツテ賣ルノハイカスト云フヤウナ司法省ナラバ、司法省ノ頭カラ變ヘナケレバナラヌ、是ハ司法省ノ頭ガ間違ツテ居ル、是ハ社會ノ思想上弊害ガアルト云フヤウナ問題デヤナイ、今日ノ競馬法ヲ御改正ニナルノニハ、此點ニ十分御留意ニナツテ然ルベキデ、是ハ二十圓マツヅ賣ルコトツ出來ルノダカラ、二十圓券ヲ四ツニ割ツテ賣ルト云フコトハ、私ハ農林省ノ施行細則デヤツテ差支ナイト思フ、法律デ定メナイデ施行法デヤッテ差支ナイト私ハ考ヘマス、若シ司法省ガソレニ彼此レ言フナラバ、司法省ハ全ク犯罪ヲ起サセルモノデアル、之ニ依ツテ犯罪ヲ非常ニ妨グコトガ出來タリ、呑屋ノ弊害ヲ妨グコトガ出來タリ、一舉兩得ト云フコトニナリマスナラバ、是ハ農林大臣ハ大ニ司法省ニ談判シテ世ノ中ヲ誤解シテ居ルノデアリマスカラ、大ニ說イテ聞カセテ、サウシテ御實行ニナルコトガ私ハ競馬法ノ爲ニ有意義ナコトニナルト思フガ、其點ニ付テ伺ヒマス

ニ賣ルコトニ提案ヲシナカッタ主ナルコトヲ、司法省ノ法律ノ解釋ニ支障ガ生ジタカラ、私ガソレヲヤラウト思ッタケレドモ其意味デ止シタースウ御解釋ノナイヤウニト云フコトヲ吳々モ申シテ居リマス、縦ンバ司法省ノ解釋ガ四枚ニスルコトガ法律デ差支ナイト假定シテモ、今直チニ私ハ之ヲ御話ノヤウニ四枚ニ分ツコトニ提案スルコトハ、此法全體ノ改正ヲ一日モ早ク實現シタイト云フ趣意カラ、此改正ヲ今日致スコトハ躊躇致シマシタ、而シテ本田君ノ御話ノ如ク農林省ノ中ニモ法律ノ改正ニ依ラズ、施行規則ノ改正ニ依ツテ御話ノヤウナコトガ出来ルト云フ見方モ、研究ノ結果アルノデアリマス、併シマダ是ハ一定シテ居リマセヌ、更ニ研究ヲ加ヘマシテ、果シテ法律ノ改正ニ依ラズ、農林省ノ施行細則ニ依ツテ一枚二十圓ノモノヲ四枚限リヤツテ宜イト云フコトガ、法律ノ解釋ニ於テ誤リナイト見マスレバ、私ハ適當ナル時期ニ於テ御趣意ノ通リヤルコトハ躊躇致シマセヌ、唯今日直チニヤルト云フコトハ如何デアルカト云フコトヲ考ヘテ居リマス

ニナツテ居リマスガ、解釋ハドノ俱樂部ニ於テモ五圓券及ビ十圓券ヲ買ヒタイト云フ人ガアリマスレバ、之ヲ賣ルト又五圓券デ單勝式、複勝式二枚ヅ、買フト四十圓買フコトニナルノデスカラ、若シ誤ッテ五圓券四十圓マデハ買フテモ、競馬上ノ罪人ニハナラナイト云フコトヲ、司法當局ト御打合セニナツテ、而シテ此賣高ノ範圍内デヤルト云フコトハ差支ナイト云フコトニシテ戴キタイ、是ハ農林大臣ノ力ニ依ッテ出來ルト思フ、ソレ故ニ五圓券ヲ發行シテ、之ヲ澤山買フタトシテモ四十圓以内ナラバ敢テ犯罪人ニセヌ、斯ウ云フコトヲ出來ルヤ否ヤ伺ヒタイノデアリマステ、出來ルダケ其解釋デ出來ルコト、致シマシテ、適當ナル時期ニソレヲ行フコト、致シマス

イ、勝馬投票ハ複勝式ニナリマスカラ
穴馬ノ場合ハ一著ガ先ヅ二百圓トシ
テ、其餘リヲ二著ニ配當スル、二著ガ
餘ツタ場合ニハ三著ニ配當スル、是ガ一
番今日ノ競馬ノ通念ニナツテ居リハシ
ナイカ、一著ノ配當ヲ除イタ外全部之
ヲ買受ケタ者ニ配當スルト云フコト
ハ、非常ニ事ガ複雜ニナルト思フ、之
ヲ今日ノ原則トシテ、一著、二著、三
著ガ勝馬ニナツテ居リマスカラ、先ヅ二
著ニ拂ヒ、其次ニ餘リヲ二著ニ拂ヒ、
二著ニ拂ツテ餘ツタ金ハ三著ニ拂フト云
フコトニシタ方ガ宜イト思フ、少クト
モ此點ハ大衆ハ望ンデ居ルト思フガ、
如何デスカ

○本田委員　是ハ農林省ノ手心デ出来ルト思フ、固ヨリ勝馬ノ投票券ヲ買ッタノデアル、勝馬ハ三等マデ、アル、三等マデハ賞金ヲ取ルノデアルカラ、若シ拂戻ヲスル際ニ、一著ニ制限額ヲ拂フテ残リガアルナラバ、二著ニ拂ヒ、其殘リヲ又三著ニ拂フノガ純理ダト思フ、ソレガ最モ適當デアルト思フ、成ベクスウ云フコトノ御實行ヲ願ヒタク、實ハ質問シタイコトガ澤山アリマスガ、此程度ニ止メタイト思ヒマス。

○佐藤(重)委員　極メテ簡單ニ農林大臣ニ伺ヒマス、救護法財源捻出ノ爲ニ地方競馬ニ觀覽稅ヲ掛ケルト云フコトデアリマス、前ニ詳シク此點ニ關シテ高橋君トノ間ニ質問應答ガアリマシタ、私共ハ農村ノ現狀ニ鑑ミテ、誠ニ困ツタ政府ノ提案デアルト思ヒマスガ、意見ノ相違デアリマスカラ、論議スルコトハ差控ヘマス、先達テ御提出ニナリマシタ年次各俱樂部賣得金調べノ表ニ依リマヌト、各俱樂部ノ賣得金額ノ過去三年間ニ非常ニ殖エタ所ト減少シタ所トアリマス、殊ニ東北ノ馬產地ガ最モ減收ガ大キイヤウデアリマス、東京横濱ノ競馬場ニ於テモ大變減ツ居リマス、然ルニ獨リ阪神、伏見、九州ノ宮崎、此三箇所ハ大變殖エテ居ルノデアリマス、如何ナル事情ニ依ルモノデアリマスルカ、定メテ具體的ナ詳細

ナル御調査ガアルダウト思フノデアリマスガ、簡単デ宜シクゴザイマスカラ、此點ヲ一寸御説明ヲ願ヒタイ
○町田國務大臣 實ハ私モ其點ハ能ク分リマセスカラ、畜産局長カラ説明致サセヌガ、只今マデ聞イテ居ル所ニ依リマスルト、阪神竝ニ伏見アタリガ年多カツタヤウデアリマス、東京アタリハ此收入ノ少イノハ、是ハ本田君ノ先刻御話ノ呑屋ガ盛ナ所ガ割合ニ收入ガ少い、又關西殊ニ桃山方面ノ收入ノ増シテ居ルノハ、呑屋ノ弊害ガ比較的少イ所ニ於テ收入ガ増シテ居ルト、斯ウ云フヤウニ聞イテ居リマスガ、詳シイコトハ局長カラ答辯致サセマス

○戸田政府委員 御答致シマス、大體ニ於テハドノ俱樂部モ、一般的ニ申セバ漸次增加シテ居ル譯デアリマス、唯年々ノ状況ニ依リマシテ、多少減タリ殖エタリシテ居ル點ハアリマス、併シ大體ノ趨勢ハ漸増シテ居ル譯デアリマス、併シ細カク申セバ或ル年ニハ減タリマス、或ル年ニハ減タト云フヤウナコトハアリマス、ソレデ大體論ヲ申上ゲマスト、關東ト關西デハ、最近ニ於キマシテハ稍、關西ノ方ガ殖エル傾向ガアリマス、馬喰ノ點モアリマセウ、

○佐藤(重)委員 諒承致シマシタ、ソコデモウ一點伺ヒタインハ、競馬俱樂部ノ數デゴザイマスガ、當分ハ十一箇所ト云フコトニ、此法律デハナッテ居應答ノ中ニ、一寸大臣ノ御話ガ此點ニ觸レテ居タヤウデアリマス、重複ノ虞ガアリマスケレドモ、簡単デゴザイマスカラ——大體ニ於テ十一箇所ニ配置サレマシタ根據ト、ソレカラ將來位置ヲ變更スルノニ、既ニ許可サレテ居ルモノヲ、之ヲ脇ニ持テ行クヤウナ御意思ガアリサウナ、一寸御口吻ヲ伺ッタノデアリマスガ、如何ナル條件事情ノ下ニ、之ヲ移轉許可サレルノカ、此二點ヲ承知シテ置キタイ

○町田國務大臣 今ノ十一箇所ノ全國分布ノ分布ノ形ガ、素人ノ私カラ見ルト何ダカ適當ナ位置ニ旨ク分布サレテ居ラヌヤウナ感ジノスル所ガアルノデアリマス、是ハ前ニハドウ云フ事情デヤッタモノカ、其當時ノ歴史ハ私知リマセヌガ、アノ徑路ハ局長ヨリ説明致サセマラ、ソレカラ今後モウ二三箇所更ニ増セバ比較的關東ノ方ガ多イ、比較的阪神、京都アタリハ、呑屋ノ入込ムノガ少イノデアリマス、サウ云フヤウナ關係ニアリマシテ、御尋ノ點ニ付テハ特別ノ理由ハナイヤウニ思ヒマス

○戸田政府委員 諒承致シマシタ、ソコデモウ一點伺ヒタインハ、競馬俱樂部ノ數デゴザイマスガ、當分ハ十一箇所ニ配置サレマシタ根據ト、ソレカラ將來位置ヲ變更スルノニ、既ニ許可サレテ居ルモノヲ、之ヲ脇ニ持テ行クヤウナ御意思ガアリサウナ、一寸御口吻ヲ伺ッタノデアリマスガ、如何ナル條件事情ノ下ニ、之ヲ移轉許可サレルノカ、此二點ヲ承知シテ置キタイ

○戸田國務大臣 今御話ノ第一ノ分布状況ハ、競馬法施行當時許可サレテ居モドウカト云フ所ガアルテ、適當ナル方針ヲ、其儘認メルト云フヤウナ趣旨デ設置ニナツテ居ルノデアリマスカラ、競馬法ガ制定サレテ、之ニ依テ新規アレバ之ヲ讓テモ宜イト云フヤウナ考ノアル場所モアルヤウデアリマス、併シ是ニハソレヲ引受ケル人ニ分布ヲ考ヘテ作ツタモノデモナク、御承知ノヤウニアノ當時ノ沿革上、其當

時アッタモノヲ其儘認メタト云フノデ

アリマス

○佐藤(重)委員

此移轉ニ關シマシテ、外ノ方ノ問題ハ時間ノ節約

ノ爲ニ遠慮シマスガ、宮崎ノ競馬ノコトヲ此際伺ツテ置キタイ、聞ク所ニ依ル

ト何デモ一兩年前、他ニ移轉サレルヤ

ウナ何カ話ガ生ジタ所ガ、農林當局ノ

御裁斷ニ依ツテ是ハ差止メラレタト云

フヤウナコトヲ聞イテ居ルノデアリマ

スガ、左様ナ事實ガアリマスカ、モウ

一點ハ宮崎縣ハ九州ニ於テ、人口ハ比

較的少ウゴザイマスケレドモ、馬產

地トシテハ非常ニ適地ナノデス、サウ

云フヤウナ關係デ俱樂部ノ狀態カラ申

シマンテモ、最モ優秀ナ成績ヲ舉ゲテ

居ルノデアリマス、サウ云フ場所デア

策士ガ策應シマシテ、地方ノ實情ヲ無

視シテ、サウシテ變ナ移轉運動ナドモ

ヤリ兼ネナイノデアリマス、斯ウ云フ

點ハハツキリシテ置キタイノデアリマ

ス、地方的ノ問題デモアリマシテ、問

題ハ小サイウデアリマスケレドモ、

スカラ、此點ニ付テ大臣ノ御説明ヲ願

ヒタイト思ヒマス

○町田國務大臣

明ニ申シテ置キマ

ス、俱樂部ノ意思ニ反シテ政府ガ之ヲ

或場所ニ移スナント云フコトニ對シテ

ハ、聊カタリトモ左様ナコトニハ干涉

致シマセヌ

○佐藤(重)委員

一寸今ノ大臣ノ御答

辯デハ、反對ナノデス、是ハ一部ノ策

士ガ、俱樂部外ノ色々ナ利權屋ナドト

トヲ計畫スルノデアリマス、宮崎ノ例

ハ、詰リ其ツナノデアリマス、所ガ

是ハ、私共風聞デアリマシテ、風聞ヲ

以テ議會デ態々質問セヌデモ宜イトオ

叱リガアルカモ知レマセヌケレドモ、

マセヌカラ御尋スルノデアリマスガ、

斯ウ云フ機會ニハツキシナイトイケ

進行シテ居ツタラシイノデアリマス

ガ農林省ニ於テ、地方的實情ヲ御考ニ

トモアリマシタガ、其最後ノ結著ハ、

トモアリマシタガ、其際ニ、最後ノ決議ヲ俱樂部デハシ

タ、其際ニ、最後ノ決議ヲ俱樂部デハシ

ナイデ、色々問題ガアリマシタノデ、役

所ノ方モ認可ノ意思ヲ表シテ居リマセ

ヌデシタ、其結果詰リ移轉ト云フコト

ヲ、自然策動シタ人モ思止マッテ、今日

デハ全ク其コトガナク定マッテ、詰リ動

カナイヤウニナツテ居ル次第デアリマス

ガ農林省ニ於テ、地方繁榮ト云フコトニ付テ、知事等ノ

考ヲ徵シマシテ、之ヲ移スコトガ適當

ダト云フ場合ニハ、農林省ハ之ヲ移ス

コトニ同意ヲ致シマセウ、併ナガラ此

方ノ事情ガ、或ハ地方繁榮ノ上ニイカ

ヌトカ、或ハ之ヲ移シテイカヌトカ、

シタ、ソレカラ願書等モ役所ヘ出タコ

ニ御尋スル爲ニ保留シテ置イタ點モア

リマスガ、色々他ニモ質問ガアルト云

フコトデアリマスカラ、内務、農林ノ

陸軍ノ政府委員ノ御説明ヲ願ヒタイト

思ヒマス、私ノ質問ハ頗ル簡単デアリ

マシテ、軍馬購買ニ關スルコトデゴザ

イマスガ、軍馬ノ購買ハ先年ノ軍備縮

小ト共ニ購買頭數ガ著シク減少ヲ致

シ、又購買地ノ箇所モ減ツテ居ルノデア

リマス、軍馬購買ト競馬トハ相並ンデ

馬事振興、馬政ノ獎勵上參ツテ居リマス

ルコトハ勿論デスマスガ、軍馬ノ購

買ト云フコトニ關シテハ、產馬地トシ

テ最モ重要ナ密接ナル關係ガゴザイマ

ス、ソレデ軍馬購買數ノ減少ト、購買

箇所ノ縮小ニ依リマシテ、產馬生產上

ニ於キマシテモ、產馬獎勵上ニ於キマ

シテモ、少ナカラザル影響ヲ蒙ツテ居ル

コトハ御承知ノ通リデアリマス、然ル

ニ過般陸軍大臣トノ質問應答ノ際ニ、

軍馬ニ於キマシテハ血種ヲ餘リ重ク見

テ居ラヌ、體型ニ重キヲ置イテ居ルト

云フヤウナ御話ゴザイマシタガ、購

買頭數ハ、軍備縮小ノ方針ニ基イテ增

加スルコトガ出來ナイト致シマスレ

バ、セメテ購買箇所ヲ増加シテ戴クコ

○大石委員

實ハ農林大臣、内務大臣

人トノ間ニ、移轉ノ噂ナドガ屢々アリマ

ニ御尋スル爲ニ保留シテ置イタ點モア

リマスガ、色々他ニモ質問ガアルト云

フコトデアリマスカラ、内務、農林ノ

陸軍ノ政府委員ノ御説明ヲ願ヒタイト

思ヒマス、私ノ質問ハ頗ル簡単デアリ

マシテ、軍馬購買ニ關スルコトデゴザ

イマスガ、軍馬ノ購買ハ先年ノ軍備縮

小ト共ニ購買頭數ガ著シク減少ヲ致

シ、又購買地ノ箇所モ減ツテ居ルノデア

リマス、軍馬購買ト競馬トハ相並ンデ

馬事振興、馬政ノ獎勵上參ツテ居リマス

ルコトハ勿論デスマスガ、軍馬ノ購

買ト云フコトニ關シテハ、產馬地トシ

テ最モ重要ナ密接ナル關係ガゴザイマ

ス、ソレデ軍馬購買數ノ減少ト、購買

箇所ノ縮小ニ依リマシテ、產馬生產上

ニ於キマシテモ、產馬獎勵上ニ於キマ

シテモ、少ナカラザル影響ヲ蒙ツテ居ル

コトハ御承知ノ通リデアリマス、然ル

ニ過般陸軍大臣トノ質問應答ノ際ニ、

軍馬ニ於キマシテハ血種ヲ餘リ重ク見

テ居ラヌ、體型ニ重キヲ置イテ居ルト

云フヤウナ御話ゴザイマシタガ、購

買頭數ハ、軍備縮小ノ方針ニ基イテ增

加スルコトガ出來ナイト致シマスレ

バ、セメテ購買箇所ヲ増加シテ戴クコ

○町田國務大臣

公認競馬俱樂部ガ、

他ニ移轉ヲスルトカ、賣却スルトカ云

フ考ガナクテモ、公認競馬ヲ作ツテアル

カナイヤウニナツテ居ル次第デアリマス

ガ農林省ニ於テ、地方法規ニ御考ニ

ナツテ、其不當ナルコトニ御認メニナツ

テ、サウシテ許可サレナカッタ、斯ウ云

トガ出來ルカト云フコトヲ御伺ヒシタ
イト思フノデアリマス、血種ニ付テハ、
私共產馬地ノ實狀ニ依ツテ見マスト、御
承知ノ通リ色々ナル馬ノ生產方針ト云
フモノガ、其地方々々ニ依ツテ異ッテ居
リマシテ、或ハ青森縣ノ如キ、輕種ヲ
適當トシテ居ル地方モアリ、岩手縣ノ
如キ中間種若クハ重イモノヲ造ツテ居
ル所モアル、宮城縣ノ如キハ、一體ニ
於キマシテ輕種ノ馬ガ適當デアルト云
フ狀態ニナツテ居リマスガ、是ガ或ハ重
イ種ヲ獎勵サレテ、サウシテ輕種ノ混
淆シタルモノガ代リマシタリ、或ハ中
間種ヲ作ル時ニ、輕種ノモノヲヤルヤ
ウナ事ガ往々アリ勝チデアリマス、ソ
レハ軍馬購買ノ御方針ガ、今年ノ購買
ニ依ツテドウ云フ種類ノ馬ガ買上グラ
レタカ、ドウ云フ馬ガ不合格ニナツタカ
ト云フヤウナコトヲ、生產者ニ於キマ
シテハ非常ニ重ク考ヘテ居リマス、ソ
レト縣ノ當局ノ獎勵ト、此二ツカラ、血
生產スル所ノ血種ニ色々ノ變化ガアル
ノデアリマス、ソレガ陸軍ニ於テ、血
種ニ關係ナク御買上ゲニナツテ來マス
ト、ドウ云フ馬ヲ造ツテ宜イヤラ、生產
者ト致シマシテハ非常ニ迷フノデアリ
マス、地方デハ寧ロ競馬馬ト云フヨリ
ハ、軍馬ノ購買ニ依ツテ、漸ク生產ノ衰
退ヲ防イデ居ルト云フ現狀ニナツテ居
リマス、斯ウ云フヤウナ狀態カラ考ヘ

マシテモ、今後此血種ニ關スル、所謂生
産獎勵ニ關スル、方針ヲ定メル上ニ於
キマシテモ、今ノ點ヲ御伺ヒシテ置キタ
百六十萬頭ニナツテ居リマスガ、昭和四
ト思ヒマスガ、軍馬購買箇所ガ縮小サ
レルト云フト、兎ニ角軍馬購買所ノ無
い地方ハ、更ニ非常ナ時間ヲ費シ非常
ナ經費ヲ掛ケマシテ、遠ク軍馬購買所
マデ率イテ參リマシテ、御目ニ掛ケテ幸
ニ御買上ニナレバ宜シイガ、買上グラ
レナイデ、不合格ニナルト非常ナ迷惑
ヲシテ生產者ガ歸ツテ來ル、從來アリマ
シタ地方ノ購買所ガ廢止サレマシタガ
モ直サズ生產頭數ガ減ツテ居ルト云フ
森縣デモ岩手縣デモ、宮城縣デモ漸次
現在頭數ニ於テ減ツテ居ルコトハ、取り
コトヲ物語ツテ居ルト思フノデアリマ
ス、是ハ將來ノ產馬獎勵上ニ重大ナラ
ニ於テモ著シク安ク賣ルト云フヤウナ
事ガ實際ニ於テゴザイマス、ソレデ購
ウデアリマスカラ便宜上馬政課長ヨリ
ニ付テ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思フノ
デアリマス

○吉川政府委員 只今ノ御質問ハ、馬
其モノニ付テノ專門的ニ互ツテ居ルヤ
ウデアリマスカラ便宜上馬政課長ヨリ
説明サシテ戴キマス

○高波騎兵大佐 御説明致シマス、血
種ニ依ツテ買ハズニ、體型其他能力カラ
判断ヲシテ、軍馬ヲ買ツテ居ルト云フ
コトハ此前ニモ御説明ヲ申上ゲマシタ
ガ、馬籍若クハ血統書ニ依リマシテ、
單ニソレノミニ依リマシテ買フコトノ
出来ナイヤウナ馬籍若クハ血統書デゴ
モノガ分ラナイノデアリマシテ、已ムヲ得ズ先づ體型ヲ見其能力ノ

審査ヲヤリマシテ取ツテ居ルヤウナ現
状デアリマス、血種ト云フモノヲ重ン
ジナイ譯デモ何デモアリマセヌ、ヤハ
リ分ツテ居ルモノハ其血種ノ一方モ大ニ
是亦陸軍ノ經費ノ御都合ヤ何カニ依リ
マシテ、已ムヲ得ナイ點モアルダラウ
キノデアリマス、又購買箇所ノ縮小ハ、
年度ニ於テハ百五十萬頭ノ所謂第一期
計畫ノ頭數ヲ割ツテ居ルト云フヤウナ
有様デアリマス、縣別ヲ見マシテモ、
北海道ノミガ著シク生產增加ヲ致シテ
居リマスケレドモ、最モ歴史ノアル青
森縣デモ岩手縣デモ、宮城縣デモ漸次
モ直サズ生產頭數ガ減ツテ居ルト云フ
コトヲ物語ツテ居ルト思フノデアリマ
ス、是ハ將來ノ產馬獎勵上ニ重大ナラ
ニ於テモ著シク安ク賣ルト云フヤウナ
事ガ實際ニ於テゴザイマス、ソレデ購
ウデアリマスカラ便宜上馬政課長ヨリ
ニ付テ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思フノ
デアリマス

○吉川政府委員 只今ノ御質問ハ、馬
其モノニ付テノ專門的ニ互ツテ居ルヤ
ウデアリマスカラ便宜上馬政課長ヨリ
説明サシテ戴キマス

○高波騎兵大佐 御説明致シマス、血
種ニ依ツテ買ハズニ、體型其他能力カラ
判断ヲシテ、軍馬ヲ買ツテ居ルト云フ
コトモ考慮シマシテ、サウ一二頭ヲ買
云フヤウナ爲ニ——ヤハリ御承知ノ通
リ購買班ノ編成ト云フモノハ相當ノ人
數ガ要ルノデアリマスカラ、サウ云フ
ガ少イ爲ニ、一頭若クハ二頭ヲ買フト
云フヤウナ爲ニ——ヤハリ御承知ノ通
リ購買班ノ編成ト云フモノハ相當ノ人
數ガ要ルノデアリマスカラ、サウ云フ
ガ少イ爲ニ、一頭若クハ二頭ヲ買フト
云フヤウナ計畫ヲ立テマスルト
一御承知ノ通リ軍馬ノ購買所ノ方カラ
ハ、購買機關ノ費用ハ出サナイコトニ
ナツテ居リマシテ、全ク別途ニシテアル
ハ、購買機關ノ費用ハ出サナイコトニ
ナツテ居リマシテ、全ク別途ニシテアル
ハ、購買機關ノ費用ハ出サナイコトニ
ナガラ各地ノ資源ヲ能ク考慮シマシ

テ、成ベク其地方々々ノ希望ニ應ズル
ヤウニ陸軍當局デハ努メテ居ル積リデ
アリマス、ソレカラ馬政計畫ニ基キマ
スル全國ノ產馬ノ狀況デゴザイマス、
例ヘバ輕種ナラバ十五「パーセント」位
シカ全國ニ造ツテ居ラナイ、併ナガラ陸
軍ノ平時ノ保管馬數ト云フモノハ、馬
產方針ニ基クヤウナ馬數ヲ取ツテ居ル
ノデハアリマセヌ、乘馬ノ方ハ、此前
モ示シタ通リニ餘程多數買ツテ居ルノ
デアリマス、隨テ陸軍デ平時保管馬ノ
補充ノ爲ニ買ヒマスル馬ノ中デ、乘馬
ヲ買フト云フコトハ一番困難ヲ感ジテ
居ルノデアリマス、隨テ馬政計畫ニ基
キマスル輓馬ノ主要ナル產地ニ於テモ、
或ハ其地方ノ人ガ生産者トシテハナク
育成者トシテ、乘馬ニ適當シタヤウナ
馬ヲ買ツテ育成シテ居ラル、ナラバ、其
地方ニ行ツテ三歳ナリ——昨年カラ四
歳モ少シハ買フヤウニナリマシタガ、
サウ云フモノヲ買フ、即チ資源ノアル
所ニ行ツテ買フト云フヤウナ景況デア
リマス

○佐藤(重)委員　適當ナ代地ガアル場所ヲ減ズルカ、整理スルトカ云フ意思ハアリマセヌ

テモ其土地ヲ換ヘルト云フヤウナコト
ニ付テハ考慮シツ、アリマス
○高橋(熊)委員 私先程頂戴シタ「救
護法施行ニ伴フ府縣費負擔増額財源
調」ヲ見タノデアリマスガ、洵ニ山形
縣、秋田縣、殊ニ秋田縣ノ如キハ、觀覽
料ノ百分ノ五ノ觀覽稅ヲ徵收スル場合

デアリマスガ、是ハ少シク怪シイ數字
デアツテ、正確デナイト思フガ、ドノ程
度マデ吾々ハ之ヲ確實ナモノト見テ宜
シイノデスカ、其點ヲ簡単デ宜シイカ
ラ御答辯願ヒタク

○次田政府委員 今差上グマシタモノ
ノ外ニアルノデハナイカト云フ疑ガア

リ外仕方ガナイノデアリマスカラ申上
ゲマスガ、宮崎縣ノ高鍋ト云フ非常ニ
廣大ナル交通ノ良イ場所ヲ軍馬補充馬
デ殆ド獨占シテ居ルノデアリマス、今
日ハ汽車モ開通シテ、非常ニ發達シタ
カラ、成ベク端ノ方ニ持ツテ行ツテ、戴
キタイト云フコトヲ地方民ガ希望シテ
居ルノデアリマス、適當ナ代地ガアレ
バ、交換若クハ拂下ト云フヤウナ相當
ナ方法ニ依ツテ、陸軍當局ノ認メラレル
必要ヲ充タスコトサヘ條件ニ適ヒマス
ルナラバ、移轉ヲ御承認ニナルヤ否ヤ
伺ヒマス

ニハ、二十八圓ノ收入デアル、之ニ對
シテ救護費ハ一萬九千餘圓ヲ要スル、
山形縣ハ二萬餘圓ニ對スル二千六百餘圓
ノ觀覽稅ノ收入デアリマス、青森縣
ハ二萬七千餘圓ニ對スル九百七十三圓
ノ收入、岩手縣ハ、二萬餘圓ニ對シテ
千四百三十七圓、宮城縣ハ二千百十六
圓、福島縣ハ稍多イノデ五千六百餘圓
ニナツテ居ル、斯ウ云フ工合ニ比較シマ
スト、一百萬圓ニ近イ收入ノ中ニ於テ、
斯ノ如ク甲乙ガアツテ、而モ救護費ト云
フモノハ何等他府縣ニ劣ル所ガナイ、
寧ロ比較的多イト云フ姿ナノデアリマ
ス、斯ウ云フコトデアリマスカラ、多
少ノ例外ガアルト云フコトデハナイノ
デ、著シク例外ノミガ多イノデ、御說
ニ適フノハ東京トカ、京都トカ或ハ大
阪デアルトカ、左様ナル大都市附近ニ
ノミ限ラレテ、爾餘ノモノハ全部例外
ニ屬スルモノデアルト吾々ハ認メナケ
レバナラヌ、ソレカラ地方競馬ニ對ス
ル觀覽料ノ今マデノ、五年度六年度ニ
於ケル豫算竝ニ其他ノ成績ヲ戴イタノ

ルノデゴザイマスガ、其處ニ差上ゲマシタモノハ観覽稅トシテ確ニ取ッテ居ルノデアリマス

○高橋(熊)委員 只今局長カラ承ルト、餘リ澤山ハナイ筈ダト仰セニナツテ居ツタノデスガ、サウ澤山ハアルマイト思ヒマス、ソレハ承知致シマシタ、ソレデアリマスカラ將來地方競馬ヲ競馬法ノ中ニ織込ンデ統制スル御意思ガアルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイ

○次田政府委員 是ハ農林省ノ方カラ御答願ツタガ宜イト思ヒマスガ、便宜私カラ申上ゲマス、競馬法ノ中ニ地方競馬ヲ織込ムト云フコトハ、地方競馬ニ付テ統制ヲ整理シタラドウカト云フヤウニ農林省ト打合セテ居リマス

○高橋(守)委員 一寸議事進行ニ付テ……マダ澤山此法案ニ付テノ質問希望者ハアルヤウデアリマスケレドモ、既ニ會期モ切迫シテ居リマスシ、追加豫算ニモ關聯ヲ持チマス法案デアリマスカラ、本日ハ此質疑ヲ打切りマシテ、是非共採決ニ入ッテ欲シイ、斯ウ考ヘマ

デアリマスガ、是ハ少シク怪シイ數字
デアツテ、正確デナイト思フガ、ドノ程
度マデ吾々ハ之ヲ確實ナモノト見テ宜
シイノデスカ、其點ヲ簡単デ宜シイカ
ラ御答辯願ヒタク

○次田政府委員 今差上グマシタモノ
ノ外ニアルノデハナイカト云フ疑ガア

ス

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○高橋(熊)委員 只今御希望ガアリマ

シタガ、私共ハ質疑ヲ打切ラレルコトニ付テハ、何等反対ヲ唱ヘマセヌ、已ムヲ得ナイコト、致シテ、爾餘ノ質問ハ我慢ヲ致シマス、併ナガラ吾々ハソレヅレ之ニ對スル只今マデノ質問應答ヲ重ねタ結果トシテ、之ニ對スル態度ヲ決定シナケレバナラヌ、ソレドヽ黨ノ機關ニモ諧ラナケレバナラヌノデアリマスカラ、暫時休憩ヲ願ヒタイ

○中馬委員長 質問ノ打切ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○中馬委員長 質問ノ打切ニハ御異議

ナイモノト認メマス、暫時休憩致シマシテ、七時十分カラ開キマス
午後六時三十分休憩

午後七時五十八分開議

○中馬委員長 只今カラ開會致シマス

質問ハ既ニ打切リマシタカラ討論ヲ許シマス

○山内委員 只今提案サレテ居リマス
ル競馬法中改正法律案ニ對シマシテハ原案ヲ賛成致シタイト思ヒマス、本法ノ改正ニ付キマシテハ、以前ニモ色々ノ意見等モアリマシテ、今回ノミナラズ、以前ニモ改正ヲセラレタコトガアリ

ルノデアリマス、是等ハ何レモ本法制定當時ノ馬事振興及馬事思想ノ普及ヲ

目的トシテ改正ヲセラレタノデアリマ

シテ、現在ノ日本ノ馬事ノ狀況カラ考

ヘマスレバ、是ハ又無理ノナイコトデ

アリマス、併ナガラ今回ノ改正ハ、此

馬事振興ノ事ノミナラズ、尙ホ一步進

アリマス、併ナガラ吾々ハソ

レゾレ之ニ對スル只今マデノ質問應答ヲ重ねタ結果トシテ、之ニ對スル態度

ヲ決定シナケレバナラヌ、ソレドヽ黨

ノ機關ニモ諧ラナケレバナラヌノデア

リマスカラ、暫時休憩ヲ願ヒタイ

リマセヌカ

○中馬委員長 質問ノ打切ニ御異議ア

リマセヌカ

レゾレ之ニ對スル只今マデノ質問應答ヲ重ねタ結果トシテ、之ニ對スル態度

ヲ決定シナケレバナラヌ、ソレドヽ黨

ノ機關ニモ諧ラナケレバナラヌノデア

リマスカラ、暫時休憩ヲ願ヒタイ

リマセヌカ

○中馬委員長 質問ノ打切ニハ御異議

ナイモノト認メマス、暫時休憩致シマ

シテ、七時十分カラ開キマス
午後六時三十分休憩

午後七時五十八分開議

○中馬委員長 只今カラ開會致シマス

質問ハ既ニ打切リマシタカラ討論ヲ許シマス

○山内委員 只今提案サレテ居リマス

ル競馬法中改正法律案ニ對シマシテハ

吾共ハ此原案ニ對シテ賛成ヲ表スル次

第デアリマス、唯茲ニ一ツ此競馬法ノ

實際ノ施行ノ上ニ於キマシテハ、尙ホ

幾多研究ヲ要スベキ點ガアルノデアリ

マス、是ハ委員會ニ於キマシテ本田君

贊成致シマス

等カラ縷々申述ベラレマシテ、實情ノ

上カラ此改正ノ實施ノ上ニ於テハ、施

行規則等ニ於テ相當御考慮ヲ願ハナケ

リ現内閣成立以來ト云フモノハ、農村

ノ疲弊困憊ハ寔ニ言語ニ絶シテ居ルノ

デアリマス、取分ケ馬産ニ關係致シテ

居リマスル地方ト致シマシテハ、馬ノ

値段等モ極端ナル下落ニ依リマシテ、

其窮状ハ特ニ深刻ナルモノガアルト吾

コトニシヨウト云フ改正デアルノデア

リマシテ、私共ノ考デハ、馬モ亦從來

ノ馬ダケノ域ヲ脱シテ、人間ノ爲ニモ

相當ノ御奉公ヲスルト云フヤウナコ

トニナツテ參ッタコトヲ非常ニ欣ブ者デ

アリマス、人ニ依リマシテハ、現在ノ

日本ノ馬事ノ狀況ハ非常ニ爲スベキコ

トガ多クテ、金ノ足ラナイコトヲ非常

ニ憂ヘテ居リマス、併ナガラ今回ノ競

馬法改正ニ依リマシテ、收入ヲ漸次増

加ヲシテ參ルト云フコトニナリマスレ

バ、一面ニ於テハ馬事ノ振興ヲ期スル

コトガ出來ルコトハ勿論デアリマス、

尙ホ社會事業等ニモ使フヤウナコトニ

ナルト云フコトデ、最モ時宜ニ適シタ

思ヒマス、其條項ハ

競馬ノ圓滿ナル發達ヲ期スルニハ競

走ガ公正ニ行ハレルコト絕對ニ必要

ナル條件ナルヲ以テ政府ハ審判ニ關

止ニ對シ十分ナル考慮ヲ拂ハレンコ

トヲ希望ス

以上ノ希望條項ヲ附シマシテ原案ニ

贊成致シマス

○藤井委員 此際簡單ニ意見ヲ申シマス、且又希望條件ヲ附シテ、本案ニ贊

成致シタインデアリマス、御承知ノ通

リ現内閣成立以來ト云フモノハ、農村

ノ疲弊困憊ハ寔ニ言語ニ絶シテ居ルノ

デアリマス、取分ケ馬産ニ關係致シテ

居リマスル地方ト致シマシテハ、馬ノ

値段等モ極端ナル下落ニ依リマシテ、

其窮状ハ特ニ深刻ナルモノガアルト吾

コトニシヨウト云フ改正デアルノデア

リマシテ、私共ノ考デハ、馬モ亦從來

ノ馬ダケノ域ヲ脱シテ、人間ノ爲ニモ

相當ノ御奉公ヲスルト云フヤウナコ

トニナツテ參ッタコトヲ非常ニ欣ブ者デ

アリマス、人ニ依リマシテハ、現在ノ

日本ノ馬事ノ狀況ハ非常ニ爲スベキコ

トガ多クテ、金ノ足ラナイコトヲ非常

ニ憂ヘテ居リマス、併ナガラ今回ノ競

馬法改正ニ依リマシテ、收入ヲ漸次増

加ヲシテ參ルト云フコトニナリマスレ

バ、一面ニ於テハ馬事ノ振興ヲ期スル

コトガ出來ルコトハ勿論デアリマス、

尙ホ社會事業等ニモ使フヤウナコトニ

ナルト云フコトデ、最モ時宜ニ適シタ

思ヒマス、其條項ハ

競馬ノ圓滿ナル發達ヲ期スルニハ競

走ガ公正ニ行ハレルコト絕對ニ必要

ナル條件ナルヲ以テ政府ハ審判ニ關

止ニ對シ十分ナル考慮ヲ拂ハレンコ

トヲ希望ス

以上ノ希望條項ヲ附シマシテ原案ニ

贊成致シマス

ルト思フノデアリマス、然ルニ政府ハ追加豫算ト致シマシテ、本法改正ヲ致シテ、其結果本豫算ニ於テ計上シタル以外ニ、約五十萬圓程ノ金額ヲ、更ニ馬事振興費ノ爲ニ用ヒルト云フコトニ關シマシテハ、吾々ハ之ニ向ッテ喜ンデ贊成ゼザルヲ得ナイノデアリマス、唯遺憾ナ點ト思ヒマスノハ、競馬法ノ改正ハ、御承知ノ通リ本法制定當時ノ目的ニ副ウテ之ヲ改正スペキモノデアルト確信シテ居ルニ拘ラズ、現内閣ハ競馬法改正ニ依ツテ得マシタ金ヲ他ニ利用スルト云フコト、即チ社會事業ニ流用スルト云フコトニナツタノデアリマスカラ、本法制定最初ノ精神ニハ相反シテ居ルト思フノデアリマス、尙又現在ノ狀況ヲ考ヘテ見マシテモ、決シテ馬匹ノ改良増殖モ、亦馬事思想ノ普及發達ト云フコトモ、本法制定所期ノ目的通り出來テ居ルモノデナイト思フノデアリマス、併ナガラ本法改正ニ依ツテ政府ガ得マシタ金ノ中デ、一方ハ馬事ノ振興ニ之ヲ使用シ、一面ニ於キマシテハ、最モ此内閣ノ經濟狀態カラ考ヘマシテ、國民ガ貧苦ノドン底ニ陥ッテ居ルバカリデナク、救護法ニ依ツテ救濟シナケレバナラヌモノガ約十萬人近クモアルト云フ狀態デアリマスルナラバ、現在ノ寔ニ困窮シタル此實情カラ考ヘマシテモ、亦經濟界ノ實態カラ考ヘマ

シテモ、是等ノ者ハ吾々トシテ、ドウ
普及或ハ馬匹ノ増殖改良ニ使用スルコ
トハ當然ノコト、ハ考ヘマスケレドモ、
救護法實施上ニ、現在ノ状態ニ於テ已
ムヲ得ナイコトデアリマスカラシテ、
吾々ハ餘儀ナク焦眉ノ急務デアリマス
ル所ノ、此救護法ノ實施ニ、政府ガ財
源ノ關係カラ御使ヒニナルコトデアリ
マスカラ、吾々ハ差當リ之ヲ認メテ、
此救護法ニ依ツテ救ハレマスル憐ムベ
キ人々ヲ救フテヤリタイト云フ意味ニ
於キマシテ、現内閣ノ本法改正ニ賛意
ヲ表スルノデアリマスケレドモ、政府
ノ言明ヲ承ツテ見マスト、財政行政ノ根
ニ御使ヒニナルト云フ御意向ノヤウニ
ル財源ヲ、來年度ニ於テ救護法ノ一部
本的整理ヲ致シマシテ、サウシテ得タ
ルトシテハ、救護法ノ財源ト云フモノ
ハ他ノ方ニ之ヲ求メテ、將來ニ於テハ
府トシテハ、救護法ノ財源ト云フモノ
ノハ、全部之ヲ本法制定最初ノ目的デ
アリマスル所ノ馬事ノ改良、増殖並ニ
馬事思想普及ニ之ヲ使用シテ貰イタイ
ト思ヒマス、故ニ茲ニ希望條件ヲ附シ
マシテ本案ニ贊成スル次第デアリマス
希望條件

本法ニ依ル收入ハ凡テ馬事改良増殖及馬事思想普及ニ充ツベキモノナルガ故ニ社會事業ニ流用セントスルハ其ノ精神ニ悖ルモノナリ然レドモ救護法實施ハ焦眉ノ急務ナルニ鑑ミ承認スルノ已ムナキモ政府ハ速カニ本法制定ノ趣旨ニ復歸セシムベシ此希望條件ヲ附シマシテ、吾黨ハ本案改正ニ賛成スルノデアリマス、更ニ施行期日ニ付テ一言ヲ費シマス、本法改正ニ依リマシテ、競馬開催ノ期日ハ八日トナルノデアリマスガ、此八日ノ施行期日ハ土曜日、日曜日ヲ之ニ充當シテ貰ヒタイト云フコトガ、其希望ノ一ツデアリマス、更ニ又一枚投票券ヲ五圓ニ分割シ、同時ニ數頭ノ馬ニ投票シ得ルノ途ヲ開クベシト云フノガ吾々ノ希望デアリマス、以上ノ點ヲ述ベマシテ本案ニ賛成致シマス

ノ、或ハ競馬ノ日數ヲ殖ストカ、或ハ複勝式ヲ用ヒロト云フコトガアリマスガ、サウ云フヤウナ點ハ八條デアリマスカ、社會事業ニ此費用ノ幾部ヲ使フト云フコトニスルト云フコトガ改正ノ眼目ニナッタルヤウニ私ハ思フノデアリマス、サウスルト藤井君ノ述ベラレマシタル希望條件ト云フモノハ、此場合政府提案ノ法律案ノ改正ニ對シテ同意スルケレドモ、速ニ將來改正案ヲ提出セヨト云フ趣旨ニ心得テ宜イノデアリマスカ、一寸意味ガ徹底致シマセヌカラ、御伺ヒ致シタイト思ヒマス

用シテ貴イタイト云フノガ希望條件ニナツテ居リマス

ハ、馬ノ改良増殖及ビ馬事思想ノ普及ニアルノニアリマス、是等ノ收入ハ、ソレハ財政ノ按排ガ旨ク出來マシテ、ソレハ其庫ノ收入ニ依リマシテ、ソレハ其所ヲ得ルヤウニナリマスレバ、無論言

ハ、馬ノ改良増殖及ビ馬事思想ノ普及ニ向シテソレハ、使用スベキガ本法ノ趣旨ナノニアリマス、是マデハ勝手ニ一般收入ニ使ハレタト云フセヌ、其幾部分ト云フモノハ、或ハ十萬二十萬ト云フノハ、其以外ノ目的ニ使ハレタヤウナ節モアルノニアリマス

ケレドモ、多額ノ金ハ使用サレテ居リ一部分ヲ——佛蘭西ノ例ト云フヤウナマセヌ、左様デアリマスカラ、今回此ノ事業ニ使フト云フコトハ、所謂分リキッタコトデアリマシテ、誠ニ意味ヲナサヌ私ハ希望條件ダト思ヒマス、私共ノ考カラ申シマスト、本案ニ賛成シマス趣旨ハ、競馬法ニ依テ得マシタ所ノ利益ハ、政府納付金ト云フモノヲ一般會計ニ繰入レテ、ソレヲ何レノ方面ニモ勝手三昧ニ使フテ居ッタノヲ、サウ云モトシテハイケナイカラ、三分ノ二マデハ馬事ニ之ヲ用ヒ、其他ハ社會事業ニ用ユルト云フ、此改正ノ精神ニ賛成ヲ致スノニアリマス、ソレデアリマスルカラ、只今ノ希望條件ニハ私ハ反對ノ意見ヲ表シマス